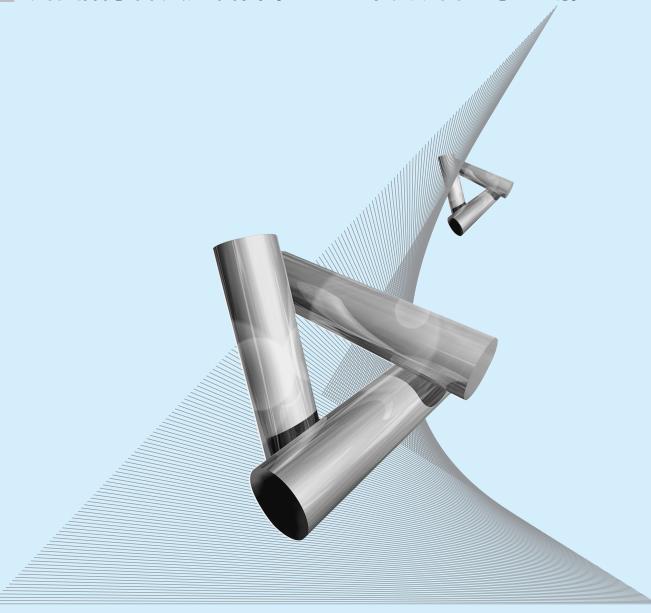
## シラバス フランス語学科

外国語学部共通科目(2003年度以降入学生用)



# フランス語学科 シラバス 【総合目次一覧】

◆【2003年度以降】入学生用

学則別表····· I - 1

授業科目目次····· I -2~4

外国語学部共通科目・・・P. 78以降に掲載

◆【2002年度以前】入学生用

学則別表・・・・・・ Ⅱ -1

授業科目目次・・・・・・ Ⅱ -2~4

外国語学部共通科目・・・全学共通授業科目のシラバスに掲載

## 【シラバスの見方】

「シラバス」は、科目の担当教員が、学期ごとの授業計画、講義概要、評価方法などを学生に周知することにより、受講する際の指針とし、授業の理解を深めることを目的に作成されたものです。 学生諸君は、シラバスを良く読み、計画的な履修登録をしてください。

本シラバスは、2003年度以降入学生用の「フランス語学科」授業科目及び「外国語学部共通科目」 と、2002年度以前入学生用の「フランス語学科」授業科目のシラバスです。 各自の入学年度に従い、以下の点に注意し目次を確認してください。

#### \*履修不可学科の表記

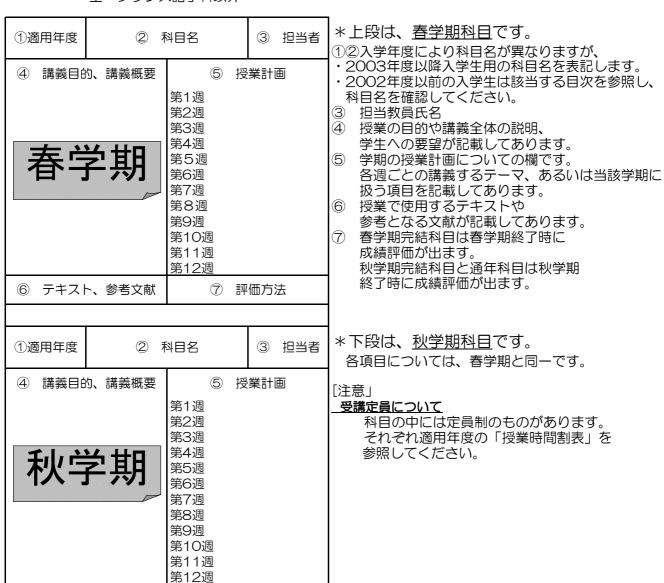
⑥ テキスト、参考文献

外:外国語学部 経:経済学部 法:法学部 独:ドイツ語学科 済:経済学科 律:法律学科 英:英語学科 営:経営学科 国:国際関係法学科

英: 英語学科 仏: フランス語学科 言: 言語文化学科

言(\*1):言語文化学科、スペイン語履修者言(\*2):言語文化学科、中国語履修者

全:フランス語学科以外



⑦ 評価方法

#### 学則別表(2003年度以降入学者用)

科	部	科目	単位		- #2				
目群	門	1711	単位	, XMX	関担以降	*88 4C)		類	V= 10
#		フランス語 I a	1	<u>必修</u> 12	選択必修	選択	<u>必修</u>	選択必修	選択
子科基礎	フランス	フランス語Ib	1	1			12		
費料	ンス	フランス語 II a	1	(10)*			(10)*	1	
8	語	フランス語 II b	1	12			12		
科授共全		英語	-	10		4	10		4
目泉通学		総合フランス語a	2	(12)*		***	(12)*		***
		総合フランス語b	2	4			4		
学	_	フランス語文章表現法a フランス語文章表現法b	2 2						
科	フラ	和文仏訳a	2		4			4	
共通	ン	和文仏訳b フランス語会話a	2 2						
科	ス 語	フランス語会話b	2						
目	BD	時事フランス語a 時事フランス語b	2 2						
		商業フランス語a	2						
<b>-</b>		商業フランス語b フランス語学概論a	2						
		フランス語学概論b	2	l	4				
	_	フランス文学概論a フランス文学概論b	2 2		"				
	ララ	フランス語史a	2						
	ン	フランス語史b フランス文学史a	2 2						
	ス 語	フランス文学史b	2		8	1.1			
	学	フランス語学各論a フランス語学各論b	2 2		°				
	文	フランス文学各論a	2						
	学	フランス文学各論b フランス語学講読a	2 2						
		フランス語学講読b	2		16**	26		10	
		フランス文学講読a フランス文学講読b	2 2		10**	20		16**	22
学		フランス文化・社会概論a	2						
科専		フランス文化・社会概論b フランス事情	2 2					4	
門門		フランスの地誌a	2						
科		フランスの地誌b フランスの歴史a	2 2						
B	フ	フランスの歴史b	2						
	ラ	フランスの思想a フランスの思想b	2 2						
	ンス	フランスの美術a	2					8	
	文	フランスの美術b フランスの音楽a	2 2						
	化	フランスの音楽b	2						
	社	フランスの演劇a フランスの演劇b	2 2					[	
	会	フランスの政治a	2					<u> </u>	
		フランスの政治b フランスの経済a	2 2						
		フランスの経済b	2					4	
		フランス文化・社会各論a フランス文化・社会各論b	2 2						
		フランス文化・社会講読a	2		16**			16**	
卒業	論文	フランス文化・社会講読b	2					1077	
	共通科	目(別表 I -5) - J				L_,	<u> </u>		,
科全学	カテコリー	- П		4	8		4	8	
日共合	カテコ・リー カテコ・リー				4	4		4	4
別超目	カテコリー	- V			4	***		4	***
<b>基 7 图 图</b>	英語以 古典語	外の外国語科目 科目							
演習a			2	4			4		L_
演習b	- 444.	- T- 1 W. 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1	2	4 50	40		4		
	主業に必	<b>必要な単位数合計</b>		บบ	128	30	50	52 128	26
備考			للسيسي						

備考
(1)\* フランス語既修者に適用される。
(2)\*\*「語学講読」、「文学講読」又は「文化・社会講読」の中から16単位選択必修。
(3) 卒業に必要な選択科目のうち20単位までは、他学部または他学科および教職課程授業科目の単位をもって代用できる。
ただし、他学部科目の単位は、8単位以内(教職課程授業科目の4単位を含む)とする。
なお、教職課程授業科目の単位の代用については別に定める。
(4)\*\*\*全学共通授業科目の英語も含めた科目から4単位選択。
〇本表は、2003年度入学者から適用する。

## フランス語学科授業科目 (2003年度以降入学生用)

## 目次

時間割開講期科目名	担当教員	曜時	教室	里11/32/1	始 履修	ページ
				<del>  f</del>	-4-1111	

#### 学科基礎科目

## 【フランス語部門】

フランス語 I a,b(文法)		各 1	1	全	1
フランス語 I a,b(講読)*2006年度入学の既修者クラス対象	_	各 1	1	全	2
フランス語 I a,b(総合)		各 1	1	全	3
フランス語 I a,b(会話) *2006年度入学の未修者クラス対象	_	各 1	1	全	4
フランス語 I a,b(LL)	- クラス指定科目につき、空欄の項目 :		1	全	5
フランス語 II a,b(文法)	ー は授業時間割表を参照する。	各 1	2	全	6
フランス語 II a,b(講読)		各 1	2	全	7
フランス語 II a,b(総合)	_	各 1	2	全	8
フランス語 Ⅱ a,b(会話)	_	各 1	2	全	9
フランス語 Ⅱ a,b(LL)		各 1	2	全	10

#### 学科共通科目

#### 【フランス語部門】

	総合フランス語a,b	受講指定科目につ 授業時間割表を参		)項目は	各 2	3	全	11
09639	春 フランス語文章表現法a	PH. ヴァネ	月 2	6-205	2	3		12
09640	秋 フランス語文章表現法b	PH. ヴァネ	月 2	6-205	2	3		12
09645	春 フランス語文章表現法a	Ch. ペリセロ	火 3	2-202	2	3		13
09646	秋 フランス語文章表現法b	Ch. ペリセロ	火 3	2-202	2	3		13
09643	春 フランス語文章表現法a	M. ミズバヤシ	水 1	6-309	2	3		14
09644	秋 フランス語文章表現法b	M. ミズバヤシ	水 1	6-309	2	3		14
09641	春 フランス語文章表現法a	A. ドホス	木 1	4-304	2	3		15
09642	秋 フランス語文章表現法b	A. ドホス	木 1	4-304	2	3		15
09637	春 フランス語文章表現法a	B. レウルス	金 2	5-314	2	3		16
09638	秋 フランス語文章表現法b	B. レウルス	金 2	5-314	2	3		16
09735	春 和文仏訳a	江花 輝昭	火 3	6-401	2	3		17
09736	秋 和文仏訳b	江花 輝昭	火 3	6-401	2	3		17
09737	春 和文仏訳a	小石 悟	木 3	6-301	2	3		18
09738	秋 和文仏訳b	小石 悟	木 3	6-301	2	3		18
09614	春 フランス語会話a	M. ミズバヤシ	火 2	6-207	2	3		19
09618	秋 フランス語会話b	M. ミズバヤシ	火 2	6-207	2	3		19
09608	春 フランス語会話a	H. ドリエップ	火 3	1-103	2	3		20
09609	秋 フランス語会話b	H. ドリエップ	火 3	1-103	2	3		20
09612	春 フランス語会話a	A. ドホス	木 3	3-118	2	3		21
09613	秋 フランス語会話b	A. ドホス	木 3	3-118	2	3		21
09619	春 フランス語会話a	S. ジュンタ	金 2	5-404	2	3		22
09620	秋 フランス語会話b	S. ジュンタ	金 2	5-404	2	3		22
09610	春 フランス語会話a	B. レウルス	金 3	5-314	2	3		23
09611	秋 フランス語会話b	B. レウルス	金 3 月 3	5-314	2	3		23
09717	春 時事フランス語a	中村 公子	月 3	5-314	2	3		24
09718	秋 時事フランス語b	中村 公子	月 3	5-314	2	3		24
09719	春 時事フランス語a	井上 美穂	木 2	5-401	2	3		25
09720	秋 時事フランス語b	井上 美穂	木 2	5-401	2	3		25

時間割 開講期 科目名	担当教員	曜時	教室	単位数	開始 学年	履修 不可	ページ
09721 春 商業フランス語a	C. パジェス	月 2	6-301	2	3		26
09722 秋 商業フランス語b	C. パジェス	月 2	6-301	2	3		26
09723 春 商業フランス語a	大井 正博	金 2	3-207	2	3		27
09724 秋 商業フランス語b	大井 正博	金 2	3-207	2	3		27

## 学科専門科目

## 【フランス語学・文学部門】

09623	春 フランス語学概論a	田中 善英	金 2	4-309	2	3	28
09624	秋 フランス語学概論b	田中 善英	金 2	4-309	2	3	28
01635	春 フランス文学概論a	伊藤 幸次	火 1	6-201	2	1	29
01636	秋 フランス文学概論b	伊藤 幸次	火 1	6-201	2	1	29
09635	春 フランス語史a	田中 善英	水 1	4-315	2	3	30
09636	秋 フランス語史b	田中 善英	水 1	4-315	2	3	30
09681	春 フランス文学史a	井村 順一	木 2	6-205	2	2	31
09682	秋 フランス文学史b	井村 順一	木 2	6-205	2	2	31
09627	春 フランス語学各論a	古川 直世	火 4	1-302	2	3	32
09628	秋 フランス語学各論b	古川 直世	火 4	1-302	2	3	32
09625	春 フランス語学各論a	小石 悟	水 1	6-305	2	3	33
09626	秋 フランス語学各論b	小石 悟	水 1	6-305	2	3	33
09665	春 フランス文学各論a	保苅 瑞穂	金 2	3-302	2	3	34
09666	秋 フランス文学各論b	保苅 瑞穂	金 2	3-302	2	3	34
09633	春 フランス語学講読a	小石 悟	水 2	6-304	2	3	35
09634	秋 フランス語学講読b	小石 悟	水 2	6-304	2	3	35
09629	春 フランス語学講読a	中村 公子	木 2	3-204	2	3	36
09630	秋 フランス語学講読b	中村 公子	木 2	3-204	2	3	36
09631	春 フランス語学講読a	田中 善英	金 4	3-308	2	3	37
09632	秋 フランス語学講読b	田中 善英	金 4	3-308	2	3	37
09669	春 フランス文学講読a	横地 卓哉	月 3	3-305	2	3	38
09670	秋 フランス文学講読b	横地 卓哉	月 3	3-305	2	3	38
09679	春 フランス文学講読a	保苅 瑞穂	火 3	3-303	2	3	39
09680	秋 フランス文学講読b	保苅 瑞穂	火 3	3-303	2	3	39
09675	春 フランス文学講読a	筒井 伸保	火 4	6-206	2	3	40
09676	秋 フランス文学講読b	筒井 伸保	火 4	6-206	2	3	40
09671	春 フランス文学講読a	根本 祐徳	水 1	6-206	2	3	41
09672	秋 フランス文学講読b	根本 祐徳	水 1	6-206	2	3	41
09677	春 フランス文学講読a	伊藤 幸次	水 2	5-105	2	3	42
09678	秋 フランス文学講読b	伊藤 幸次	水 2	5-105	2	3	42
09673	春 フランス文学講読a	M. ミズバヤシ	木 2	6-403	2	3	43
09674	秋 フランス文学講読b	M. ミズバヤシ	木 2	6-403	2	3	43
11420	春 フランス文学講読a	井村 順一	木 3	3-210	2	3	44
11421	秋 フランス文学講読b	井村 順一	木 3	3-210	2	3	44

時間割	開請期 科目名	担当教員	曜時	教室	単位数	開始 学年	履修 ページ
【フラン	ス文化・社会部門】	·					
01723	春 フランス文化・社会概論a	保苅 瑞穂	水 3	2-404	2	1	45
01724	秋 フランス文化・社会概論b	保苅 瑞穂	水 3	2-404	2	1	45
01705	春 フランス事情	江花 輝昭	木 4	2-306	2	2	46
01719	秋 フランス事情	根本 祐徳	木 4	2-306	2	2	46
09606	春 フランスの地誌a	鈴木 隆	火 2	6-201	2	2	47
09607	秋 フランスの地誌b	鈴木 隆	火 2	6-201	2	2	47
07566	春 フランスの歴史a	藤田 朋久	木 3	1-403	2	2	48
07567	秋 フランスの歴史b	藤田 朋久	木 3	1-403	2	2	48
07570	春 フランスの思想a	筒井 伸保	水 2	3-403	2	2	49
07571	秋 フランスの思想b	筒井 伸保	水 2	3-403	2	2	49
11410	春 フランスの美術a	前川 久美子	木 1	6-302	2	2	50
11411	秋 フランスの美術b	前川 久美子	木 1	6-302	2	2	50
07560	春 フランスの音楽a	松橋 麻利	木 4	3-403	2	2	51
07561	秋 フランスの音楽b	松橋 麻利	木 4	3-403	2	2	51
	春 フランスの演劇a	江花 輝昭	水 2	2-306	2	2	52
07569	秋 フランスの演劇b	江花 輝昭	水 2	2-306	2	2	52
09600	春 フランスの政治a	井上 スズ	月 2	1-206	2	2	53
09605	秋 フランスの政治b	井上 スズ	月 2	1-206	2	2	53
11977	春 フランスの経済a	千代浦 昌道	火 2	3-403	2	2	54
11978	秋 フランスの経済b	千代浦 昌道	火 2	3-403	2	2	54
09647	春 フランス文化・社会各論a	井上 たか子	木 1	1-103	2	3	55
09648	秋 フランス文化・社会各論b	井上 たか子	木 1	1-103	2	3	55
09659	春 フランス文化・社会講読a	井上 スズ	月 3	3-307	2	3	56
09660	秋 フランス文化・社会講読b	井上 スズ	月 3	3-307	2	3	56
09655	春 フランス文化・社会講読a	PH. ヴァネ	火 1	2-203	2	3	57
	秋 フランス文化・社会講読b	PH. ヴァネ	火 1	2-203	2	3	57
09661	春 フランス文化・社会講読a	藤田朋久	火 2	6-307	2	3	58
	秋 フランス文化・社会講読b	藤田朋久	火 2	6-307	2	3	58
09651	春 フランス文化・社会講読a	田桐 正彦	火 3	2-204	2	3	59
	秋 フランス文化・社会講読b	<u> 田桐 正彦</u>	火 3	2-204	2	3	59
09657	春 フランス文化・社会講読a		<u>水 1</u>	2-202	2	3	60
	秋 フランス文化・社会講読b		水 1	2-202	2	3	60
09653	春 フランス文化・社会講読a	前川 久美子	水 2	1-302	2	3	61
	秋 フランス文化・社会講読b	前川 久美子	水 2	1-302	2	3	61
09663	春 フランス文化・社会講読a	F. ルーセル	金 2	4-308	2	3	62
	秋 フランス文化・社会講読b	F. ルーセル	金 2	4-308	2	3	62
	1/ - / - / // ID   1 - 2 HTH/0~	,,, _,,	<u> </u>				~_

#### 学則別表(2001・2002年度入学者用)

科 目	部門	科目	単位		T ME				
群	HN1 1	171	単位		I 類			類	
4 <del>†</del>				必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択
尝	フ ラ	フランス語 I	2	12			12		_ · <u>_ ·</u>
利	ン			(10)*			(10)*	-	
其	ス 語	フランス語 Ⅱ	2	12			12	1	
礎		英語 I			1		- '2	]	
学 科 基 礎 科 目	第 二 外 国	<b>大</b> 面 1	2	4			4		
Ë	外 国	英語Ⅱ	2					1 1	
	語			2			2		
	フ	総合フランス語	4	4	1		4	1	
226		フランス語文章表現法	4				<del></del>	<del>                                     </del>	
字	ラン	和文仏訳	4		4			4	
科	7	フランス語会話	4						
<b>开</b>	ス 語	時事フランス語	4					1 1	
週		商業フランス語	4					1	
学科共通科目	第 二 外 国 語	英語皿	2						
	外	英語IV	2		4			1 , 1	
	国 籍	英会話 I 英会話 II	2					4	
		央宏語	2						
	フ	フランス語学概論	4		4				
	ラ	フランス文学概論 フランス語史	4					1	
	ン	フランス文学史	4						
	ランス語学	フランス語学各論	4					1 1	
	語	フランス語学各論B**	2		8				
	子	フランス語学各論B** フランス文学各論	4					1 1	
	***	フランス文学各論B**	2					1 1	
学	文学	フランス語学講読	4	•		26			22
科	-f	フランス文学講読	4		***			***	22
専		フランス文化・社会概論	4						
学 科 専 門 科 目	-,	フランス事情**	2					4	
科	フラン ス 文	フランスの地誌	4						
目		フランスの歴史 フランスの思想	4				I		
	7	フランスの業化	4					8	
	<del>\</del>	フランスの美術	4						
	化	フランスの音楽 フランスの演劇	4						
		フランスの政治	4					<b>  </b>	
	<b>≵</b> +	フランスの経済	4						
	社 会	フランス文化・社会各論	4				L	4	
	4	フランス文化・社会各論 フランス文化・社会各論B**	2						
		フランス文化・社会講読	4		***			***	
外国語学部共通科	目(別表 I -5)			28			28	1 1 1	
卒業論文 演習			4						
澳省 克泰尼及罗瓦 <u>W</u> 尔	W/ A 91		4	8	L İ		8	1 h	
卒業に必要な単位	<b>  致合計</b>			70	36	26	70	40	22
備考					132			132	
湘方									e, well a series of the series of the series

備考
(1) \* フランス語既修者に適用される。
(2) \*\* 半期で完結する科目である。
(3) \*\*\*「語学講読」、「文学講読」又は「文化・社会講読」の中から16単位選択必修。
(4) 卒業に必要な選択科目のうち20単位までは他学部または他学科の科目の単位をもって代用できる。
ただし、他学部科目の単位は、8単位以内(教職課程授業科目の4単位を含む)とする。
なお、教職課程授業科目の単位の代用については別に定める。
〇 本表は、2001年入学者から適用する。

## フランス語学科授業科目 (2002年度以前入学生用)

## 目次

時間割開講期	科目名	担当教員	曜日	時 単位数	開始	履修	ページ
<b>→</b> 1'					77	.	

## 学科基礎科目

#### 【フランス語部門】

		2	1	全	1
フランス語 I (総合)			1	全	3
フランス語 [ (会話)			1	全	4
フランス語 I (LL)	- 空欄の項目は、フランス語 <sup>-</sup> - 学科(2002年度以前入学 -	2	1	全	5
フランス語 Ⅱ(文法)	- 子科(2002年度以前八子 - - 生用)の「授業時間割表」 -	2	2	全	6
フランス語 Ⅱ(講読)	- エカ/の「技术時间引致」 - _を参照する。 -	2	2	全	7
フランス語 Ⅱ(総合)	- e > m / 0°	2	2	全	8
フランス語 Ⅱ(会話)			2	全	9
フランス語 II(LL)		2	2	全	10

## 学科共通科目

#### 【フランス語部門】

-	/// A >	2 10 11 11 E				^	
	総合フランス語	各担当教員		4	3	全	11
01587	<sub>/</sub> 総合フランス語	C. パジェス	月 1				
01632	総合フランス語	PH. ヴァネ	月 1				
01790	総合フランス語	F. ーA. メール	月 1				
01638	総合フランス語	S. ジュンタ	金 1				
01639	し 総合フランス語	F. ルーセル	金 1				
01652	フランス語文章表現法	PH. ヴァネ	月 2	4	3		12
01812	フランス語文章表現法	Ch. ペリセロ	火 3	4	3		13
01701	フランス語文章表現法	M. ミズバヤシ	水 1	4	3		14
01681	フランス語文章表現法	A. ドホス	木 1	4	3		15
01588	フランス語文章表現法	B. レウルス	金 2	4	3		16
01650	和文仏訳	江花 輝昭	火 3	4	3		17
01777	和文仏訳	小石 悟	木 3	4	3		18
01789	フランス語会話	M. ミズバヤシ	火 2	4	3		19
01597	フランス語会話	H. ドリエップ	火 3	4	3		20
01736	フランス語会話	A. ドホス	木 3	4	3		21
01811	フランス語会話	S. ジュンタ	金 2	4	3		22
01673	フランス語会話	B. レウルス	金 3	4	3		23
01645	時事フランス語	中村 公子	月 3	4	3		24
01735	時事フランス語	井上 美穂	木 2	4	3		25
01623	商業フランス語	C. パジェス	月 2	4	3		26
01814	商業フランス語	大井 正博	金 2	4	3		27

時間割コード	開講期	科目名	担当教員	曜	時	単位数	開始 学年	履修 不可	ページ
【第二名	<b>小国</b> 語	吾部門】							
12291		英語皿	J. スティベンソン	月	3	2	3		63
12297		英語Ⅲ	佐々木 恵理	火	2	2	3		64
12288		英語Ⅲ	D. ブラドリー	火		2	3		65
12287		英語皿	C. カーペンター	水	1	2	3		66
12292		英語皿	J. スティベンソン	水	3	2	3		63
12295		英語皿	T. J. フォトス	水		2	3		67
12298		英語皿	佐藤 保	水		2	3		68
12303		英語皿	髙木 亜希子	水	3	2	3		69
12301		英語皿	大田原 眞澄		4	2	3		70
12302		英語Ⅲ	堀 いづみ	木		2	3		71
12293		英語皿	M. ウーラートン	木		2	3		72
12299		英語皿	松岡 昇	木	3	2	3		73
12300		英語皿	石月 正伸		4	2	3		74
12294		英語皿	M. フッド	土	1	2	3		75
12296		英語皿	笠原 誠也	土		2	3		76
12289	春	英語Ⅲ(CAEL)		水	2	2	3		77
12290	秋	英語皿(CAEL)	J. スティベンソン	水	2	2	3		77

## 学科専門科目

## 【フランス語学・文学部門】

01671	フランス語学概論	田中善英	金 2	4	3	28
01634	フランス文学概論	伊藤 幸次	火 1	4	1	29
01628	フランス語史	田中善英	水 1	4	3	30
01782	フランス文学史	井村 順一	木 2	4	3	31
09031	フランス語学各論	古川 直世	火 4	4	3	32
01759	フランス語学各論	小石 悟	水 1	4	3	33
01713	フランス文学各論	保苅 瑞穂	金 2	4	3	34
01702	フランス語学講読	小石 悟	水 2	4	3	35
01641	フランス語学講読	中村 公子	木 2	4	3	36
01690	フランス語学講読	田中善英	金 4	4	3	37
01605	フランス文学講読	横地 卓哉	月 3	4	3	38
09033	フランス文学講読	保苅 瑞穂	火 3	4	3	39
01786	フランス文学講読	筒井 伸保	火 4	4	3	40
01637	フランス文学講読	根本 祐徳	水 1	4	3	41
01806	フランス文学講読	伊藤 幸次	水 2	4	3	42
01752	フランス文学講読	M. ミズバヤシ	木 2	4	3	43
11419	フランス文学講読	井村 順一	木 3	4	3	44

			T						
時間割コード	開講期	科目名	担当教員	曜	時	単位数	開始 学年	履修 不可	ページ
【フラン	ス文	化·社会部門】							
01722		フランス文化・社会概論	保苅 瑞穂	水	2	4	1		45
01705	春	フランス事情	江花輝昭	木		2	2		46
01719	<u></u>	フランス事情	根本 祐徳	木		2	2		46
01663		フランスの地誌	鈴木 隆	火		4	3		47
01691		フランスの歴史	藤田 朋久	木	3	4	2		48
01787		フランスの思想	筒井 伸保	水		4	2		49
11412		フランスの美術	前川 久美子	木	1	4	2		50
01772		フランスの音楽	松橋 麻利		4	4	2		51
01764		フランスの演劇	江花 輝昭		2	4	2		52
01689		フランスの政治	井上 スズ		2	4	3		53
11979		フランスの経済	千代浦 昌道	火		4	3		54
01744		フランス文化・社会各論	井上 たか子	木		4	3		55
01695		フランス文化・社会講読	井上 スズ		3	4	3		56
01630		フランス文化・社会講読	PH. ヴァネ	火		4	3		57
01734		フランス文化・社会講読	藤田朋久	火		4	3		58
01601		フランス文化・社会講読	田桐 正彦	火		4	3		59
01685		フランス文化・社会講読	鈴木 隆	水		4	3		60
01621		フランス文化・社会講読	前川 久美子	水		4	3		61
01761		フランス文化・社会講読	F. ルーセル	金	2	4	3		62

03 年度以降	フランス語 I a(文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
	一年間のうちにフランス語文法の概 しています。			
	らのか、どう授業を進めるのかといまり説明があるので、最初の授業にい。			
テキスト、参考文献		評価方法		
担当の先生より指示さ	 れます。	担当の先生より	指示されます	0
03 年度以降	フランス語 I b(文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	フランス語 I b(文法)	授業計画	担当者	各担当教員
	フランス語 I b (文法)	授業計画	担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	フランス語 I b (文法)	授業計画	担当者	各担当教員

06 年度以降	フランス語 I a(講読)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
	らで書かれたテクストを読む力を養り、1年では既修クラスのみに設定			
	うのか、どう授業を進めるのかといまり説明があるので、最初の授業にい。			
テキスト、参考文献		評価方法		
担当の先生より指示さ	れます。	担当の先生より打	指示されます	•
06 年度以降	フランス語 I b(講読)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。				

テキスト、参考文献	評価方法
同上。	同上。
	2
	<u> </u>

03 年度以降	フランス語 I a(総合)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
この授業はフランス語で、週2回あり、LL、 クラスの教科書は Cha Iです。 未修クラスでは特に文 各課の最初にある dial 学び、練習問題を解く	Champion I でた Panorama I でた		o unité 5 まで、 ら leçon 9 まで進みます。	
既修クラスではネイテ 中心に、総合的な運用	力を少しずつつけてゆきます。 ィヴ・スピーカーが担当し、会話を 能力を身につけることを目標にしま 担当の先生から最初に指示がありま			
テキスト、参考文献		評価方法		
Champion I Panorama I		担当の先生より打	指示されます	0

03 年度以降	フランス語 I b(総合)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。		Champion I でに		5 unité 10 まで、 いら leçon 15 まで進みます。
		評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス語 I a(会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
しています。先生はフ	所の運用能力をつけることを目的と ランス人もしくはフランス語のネイ 特に会話と決まった言い回しの修得 ります。	進度はフランス	語 I (総合)	と同じです。
の教科書は Champion	同じ教科書を用います。未修クラス Iです。既習クラスではこの授業は 履修は2年未修クラスの会話を取っ			
テキスト、参考文献		評価方法		
Champion I		担当の先生より打	指示されます	0

03 年度以降	フランス語 I b(会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。		進度はフランス	吾 I (総合)	と同じです。
テキスト、参考文献		評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス語Ia(LL)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
取りに力を入れます。 も使いますが、発音矯 れますので購入してく	を用いて、特に発音、綴り字、聞き 総合フランス語や会話と同じ教科書 正専門の教材がクラスごとに指定さ ださい。 は担当の先生の説明があります。			
テキスト、参考文献		評価方法		
Champion I		担当の先生より打	指示されます	0
Panorama I 発音矯正教材(各クラ	スで指定) 		H-7. C 4 0 6 7	o

03 年度以降	フランス語 I b(LL)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。				
テキスト、参考文献		評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス語Ⅱa(文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
この授業は初級文法を について踏み込んだ説	終えた学生に、文法上の難しい事柄 明をし、より洗練された知識を身に 的としています。いわゆる中級文法			
	らのか、どう授業を進めるのかといいより説明があるので、最初の授業にい。			
テキスト、参考文献		評価方法		
担当の先生より指示さ	れます。	担当の先生より打	指示されます。	•
i			<u> </u>	
03 年度以降	フランス語 II b(文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。				

03年度以降	フランス語Ⅱb(文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。				
テキスト、参考文献		評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス語Ⅱa(講読)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
この授業はフランス語 うことを目的としてい	らで書かれたテクストを読む力を養ます。			
	らのか、どう授業を進めるのかといまり説明があるので、最初の授業にい。			
テキスト、参考文献		評価方法		
担当の先生より指示さ	れます。	担当の先生より	指示されます	0
03 年度以降	フランス語 II b(講読)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	フランス語Ⅱb(講読)	授業計画	担当者	各担当教員
	フランス語Ⅱb(講読)	授業計画	担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	フランス語 II b(講読)	授業計画	担当者	各担当教員

03 年度以降	フランス語Ⅱa(総合)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
業で、週2回あり、LL 習クラスの教科書は Panorama IIです。 この授業では特に文法	Eの実力を総合的にのばすための授 、会話と同じ教科書を用います。未 Champion I、IIです。既習では 、活彙をマスターすること、そして をつけることに中心を置きます。			ら unité 15 まで、 )半ばまで進みます。
テキスト、参考文献		評価方法		
Champion I Panorama I		担当の先生より打	指示されます	•

03年度以降	フランス語 II b(総合)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。		Champion I のいで、Panorama II で		Champion II の unité 4 まで進みます。
テキスト、参考文献		評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス語Ⅱa(会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
この授業はフランス語の運用能力をのばすことを目的としています。先生はフランス人もしくはフランス語のネイティヴスピーカーで、特に会話と決まった言い回しの修得を中心とした授業になります。		進度はフランス	語Ⅱ(総合)と同	司じです。
	書を用います。未修クラスの教科書 す。既習では Panorama Ⅱです。			
テキスト、参考文献		評価方法		
Champion I、II Panorama II 発音矯正教材(未定)		担当の先生より打	指示されます	0

03 年度以降	フランス語 II b(会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。		進度はフランス	吾Ⅱ(総合)と[	司じです。
テキスト、参考文献		評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス語Ⅱa(LL)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
compréhension glok 語総合や会話と同じ教 教材がクラスごとに指	室を用いて、特に発音、聞き取り、 pale などに力を入れます。フランス 科書も使いますが、発音矯正専用の 定されますので購入してください。 は担当の先生の説明があります。			
テキスト、参考文献		評価方法		
Champion I,II Panorama II 発音矯正教材(各クラ	 スで指定)	担当の先生より打	指示されます	0

03 年度以降	フランス語Ⅱb(LL)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。				
テキスト、参考文献		評価方法		
同上。		同上。		
		Ť		

03 年度以降	総合フランス語 a		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
connaissance de la le plan grammatica Il prend la suite d années mais il n'a avec un enseigant travailler personne à l'avance. Les distribuées au débu Le groupe 3-1 uti 10; les groupes 2,3; l'unité 5.  On insistera sur l'écrit et à l'oral et s	es cours de Sogo des premières lieu qu'une fois par semaine francophone. Vous devez donc llement à la maison et préparer cassettes des leçons seront et de l'année. lise <i>Panoprama II</i> de la leçon 4 et 5: <i>Champion II</i> à partir de rtout sur la compréhension à sur l'expression écrite.	1 Champion unité  2  3  4 Champion unité  5  6  7 Champion unité  8  9  10 Champion unit  11  12  Certaines classes	÷ 6	Panorama leçon 10  Panorama leçon 11  Panorama leçon 12  iver qu'à U7(Champion)
テキスト、参考文献		評価方法		
	er d'exercices et cassette audio. er d'exercices et cassette audio.	La méthode d' expliquée par		des connaissances sera eignant.

03 年度以降	総合フランス語 b		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
connaissance de la l le plan grammatical Il prend la suite de années mais il n'a avec un enseigant : travailler personnel à l'avance. Les d distribuées au début Le groupe 3-1 util 13; les groupes 2,3,4 l'unité 9. On insistera sur l'écrit et à l'oral et s	es cours de Sogo des premières lieu qu'une fois par semaine francophone. Vous devez donc lement à la maison et préparer cassettes des leçons seront t de l'année. Lise Panoprama II de la leçon 4 et 5 : Champion II à partir de tout sur la compréhension à ur l'expression écrite.	1 Champion unité 2 3 4 Champion unité 5 6 7 Champion unité 8 9 10 Champion unit 11 12 Certaines classes	5 10 5 11 5 6 12	Panorama leçon 13  Panorama leçon 14  Panorama leçon 15  iver qu'à U10 ou 11(Champion)
テキスト、参考文献		評価方法		
-	r d'exercices et cassette audio. r d'exercices et cassette audio.	La méthode d' expliquée par		des connaissances sera eignant.

03 年度以降	フランス語文章表現法 a		担当者	PH. ヴァネ
講義目的、講義概要	5 5	授業計画		
On n'a jamais auta	nt écrit depuis l'arrivée des téléphones	1. le 1 <sup>er</sup> semestre c	onsiste en l'ét	ude des articulations logiques.
portables et de l'int	ternet. L'écriture est à la fois un moyen	2		
de communication	et un moyen d'approfondir ses propres	3		
idées et sentiment	s. Dans ce but, elle fait appel à des	4		
règles de logique	que nous essaierons de découvrir en	•	,	
classe : exercices su	ur les articulations et les expressions de	5 Remise du devo	ir (1 <sup>ere</sup> fois)	
la cause, de la c	onséquence, du but, de l'opposition.	6		
Travail sur le plan.	Comment écrire une introduction, une	7		
conclusion, un para	graphe.	8 Remise du devoir (2 <sup>e</sup> fois)		
Une fois par ser	mestre, chaque étudiant rédige une		1 (2 1010)	
composition dont l	e sujet est libre. Le devoir est rendu 3	9		
fois. Au cours de	es deux premières fois, j'indique les	10		
endroits à modifie	er. Après la troisième rédaction, je	11 Remise du devoir (3 <sup>e</sup> fois)		
propose une correction possible.		12		
テキスト、参考文献		評価方法		
Grammaire du français (Cours de civilisation française de la		Le grand devoir	semestriel es	t noté
Sorbonne).		Le grand devon	somestrier es	n Hote.

03 年度以降	フランス語文章表現法 b		担当者	PH. ヴァネ
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
Suite du premier se			consiste en l'ét	ude de la structure logique des
		3		
		5 Remise du devo	ir (1 <sup>ère</sup> fois)	
		6		
		7		
		8 Remise du devoir (2 <sup>e</sup> fois)		
		9		
		10		
		11 Remise du deve	oir (3 <sup>e</sup> fois)	
	12			
テキスト、参考文献	<b>*</b>	評価方法		
Rédiger pour convo	uincre, Laurent JP, Duculot	Le grand devoir	semestriel es	t noté.

03 年度以降	フランス語文章表現法 a		担当者	C. ペリセロ
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
Nous allons abor	der dans ce cours les divers types	Petit exercice d'	écrit.	
d'écrits que vous p	ouvez rencontrer dans les examens de	Plan du cours p	our le premie	er trimestre :
français au Japon	( DELF, DALF, Français des affaires)	Compte rendu e	t début de la	synthèse/
et à l'université	en France. Nous aborderons les	Plan du cours p	our le second	l trimestre :
exercices suivants	: Le compte rendu, la synthèse et la	Fin de la synthè	ese et compos	sition française.
composition franç	aise. A travers ces exercices vous			
travaillerez :				
La lecture, l'écrit	ure et des techniques d'analyse de			
texte. Vous étudi	erez aussi les notions de plan, de			
poblèmatique et de	e cohésion d'un texte.			
Le cours aura com	me support des « méthodologies » que			
je vous donnerai	et qui vous expliqueront comment			
réaliser ces écrits.				
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
		Un devoir par i	nois et deux	examens (en été et hiver).
		Les absences seront prises en compte.		

03 年度以降	フランス語文章表現法 b		担当者	С. ペリセロ
講義目的、講義概要	<del>-</del>	授業計画		
春学期を参照。		春学期を参照。		
テキスト、参考文献	<b>X</b>	評価方法		
		春学期を参照。		

03 年度以降	フランス語文章表現法 a		担当者	M. ミズバヤシ
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
textes portant s	écrire en français de petits sur des sujets divers.	étudiants que grammaticau l'année, je exercices div leur permett plaisir de pet consistera à vers des chos nous partiro courtes to grammatical de petits text Pour commente d'écrire ce que phrases et er	ui souhait x de bas proposera versifiés que ront de re its textes partir du ses un peu urnant précis pou ses traitant mencer nous it nous pas	ut particulièrement aux ent revoir les points se. Tout au long de ni aux étudiants des ui, en fin de parcours, édiger avec un certain en français. Le principe plus simple pour aller plus compliquées. Ainsi rédaction de phrases autour d'un point rarriver à la production de sujets variés. Etre séance d'écriture prendrons l'habitude se par la tête en 2 ou 3 ontanéité.
テキスト、参考文	<b>C献</b>	評価方法		
Photocopies Apporter un dic	tionnaire FRANÇAIS			est à la fin du premier n régulière aux cours

03 年度以降	03 年度以降 フランス語文章表現法 b		担当者	M. ミズバヤシ
講義目的、講義概要	ξ	授業計画		
			ui souhait x de bas proposera rersifiés que ront de re its textes partir du res un peu res de la urnant précis pou res traitant mencer no e nous	ut particulièrement aux ent revoir les points se. Tout au long de ai aux étudiants des ui, en fin de parcours, édiger avec un certain en français. Le principe plus simple pour aller plus compliquées. Ainsi rédaction de phrases autour d'un point r arriver à la production t de sujets variés. Otre séance d'écriture prendrons l'habitude se par la tête en 2 ou 3 ontanéité.
テキスト、参考文献	*	評価方法		
Photocopies Apporter un dic	tionnaire FRANÇAIS			est à la fin du deuxième n régulière aux cours

03 年度以降	03 年度以降 フランス語文章表現法 a		担当者	A. ドフォス
講義目的、講義概要	<del></del>	授業計画		
Ce cours vise à pern	nettre aux étudiants d'écrire en français de	Les textes seront b	oasés sur dive	rs sujets en rapport avec la vie
courts textes sur des	s sujets simples tout en révisant de façon	quotidienne des	étudiants. Co	es sujets seront déterminés
pratique certains po	oints grammaticaux et syntaxiques. Les	ultérieurement en	fonction du ni	veau général de la classe. Les
étudiants développer	ont leur aptitude à rédiger un texte suivant	textes seront relus par le professeur qui soulignera les points à		
la logique propre à l'	écriture en français. Si une attention aiguë	corriger. Il est important que les étudiants réfléchissent par		
sera portée sur div	ers points difficiles de la rédaction en	eux-mêmes sur leurs erreurs afin de progresser, aussi est-il		
français (par exemp	ole le bon usage des articles ou de la	souhaitable qu'ils rendent une deuxième - voire une troisième		
syntaxe), le but esser	ntiel du cours est que les étudiants prennent	- version de leur texte. Dans ce but, les devoirs alterneront		
plaisir à rédiger en fr	ançais.	avec les corrections.		

評価方法

Evaluation continue. Pas d'examen mais une rédaction plus importante sera à rendre en fin de semestre.

テキスト、参考文献

最初の授業で指示する。

03 年度以降	フランス語文章表現法 b		担当者	A. ドフォス
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
春学期参照。		春学期参照。		
テキスト、参考文献	<b>†</b>	評価方法		
春学期参照。		春学期参照。		

03 年度以降	フランス語文章表現法 a		担当者	В. レウルス
講義目的、講義概要	5. 5.	授業計画		
授業は、フランス レビのC・M、w めていく。この技 を使って、読解力 力を伸ばしていく Dans ce cours no documents author publicités, article etc.). La comprél observation géné	な語の広告、ポスター、チラシ、テebsite、雑誌の記事などを材料に進受業では documents authentiques ウ・書く力・コミュニケーション能の with a section of the sectio	1~3 恋愛( 4~6 地下( 7~9 有名)	・ 鉄でパリ発見 で、誰でも便	ression des émotions L!:rencontre en R.E.R. Eっている:BIC,仏企業 いら見たフランスグルメ:le
テキスト、参考文献 《Je lis, tu lis》 『資料で読み解く ISBN 4-8086.210	- ≫ フランス語』 第三書房	<b>評価方法</b> 授業へ積極的	な参加・試験	は学期末に行います。

03 年度以降	フランス語文章表現法 b		担当者	В. レウルス
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
	stre, nous continuerons la dant de nouveaux thèmes.	$4 \sim 5$ $\Rightarrow$ $\Rightarrow$ chocolatier à $\Rightarrow$	ュラ製造業者 Paris ュッパの中の ィッパの中の	活:le Festival de Cannes f:Gérard MULOT, ウフランス:l'euro, notre · & cyber book: lire en Si j'étais□
テキスト、参考文献	<b>*</b>	評価方法		
≪Je lis, tu lis>	> ISBN 4-8086.2105-3	授業へ積極的な	よ参加・試験	は学期末に行ないます。

03 年度以降	和文仏訳 a		担当者	江花 輝昭
講義目的、講義概要	F.	授業計画		
問題が出たしている。 はいまでは、	記試験には、毎年かなり長文の和文仏訳け。この授業では、仏検準1級合格を目して、日本語をフランス語に置うウウンス語の統辞法、文章構成法上です。 は学びます。対象者は中級以上です。 は事的なですを主に採ったとき、どうしれたのか、よく理解できは用し、経験の授業では、質疑応答を表して授業イムに問題点を指摘し、質疑応答をない、対します。また、イスとして対します。というできます。 は関連を解消します。また、イスとして対します。 は関連を解消します。また、イスとして対します。 は関連を解消します。またが、カースとして対します。 を講者が多すぎると効果が期待できませた。 を講者がもしれません。最初の授業に必要するかもしれません。最初の授業に必要すると対象に対象に必要すると対象に対象に必要すると対象に必要すると対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対			文をファイルで配布。仏訳文とが受講の条件となる。
テキスト、参考文献	<b>t</b>	評価方法		
課題文は授業時にプ	ファイルで配布。	平常点。定期試験単位取得は望める		ので、出席率がよくなければ、

課題文は授業時にプ	7ァイルで配布。	平常点。定期試験 単位取得は望める		ので、出席率が。	よくなければ、
テキスト、参考文献		評価方法			
春学期に同じ。		春学期に同じ。			
講義目的、講義概要	Ę	授業計画			
03年度以降	和文仏訳 b		担当者	江花	輝昭

03 年度以降	和文仏訳 a		担当者	小石 悟
講義目的、講義概要		授業計画		
りません。この授業では自分では、 との知った。 との知った。 のの知った。 のの知った。 のの知った。 では、 のの知った。 では、 のの知った。 でする。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	語訳をしてもフランス語にはなない。 では日本語のテキスト、省略、 では日本を使いいかに からなった。 いるなどをフランス語を書くからなどをフランス語を書いるとをフランス語を書くからなった。 は、一自分ができました。 は、一自分がフランスである文は、一自分がフランスである文とでは、 ではん。 は、一自分では、 ではん。 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	長いテキストをによって変わり		ので、その時間の難易度
テキスト、参考文献		評価方法		
『コレクション・フラ 『謎がとけるフラン》	ンス語「書く」』(白水社) < 語』(第三書房)	平常点と試験		

03 年度以降	和文仏訳 b		担当者	小石 悟
講義目的、講義概要		授業計画		
春学期に同じ。		春学期に同じ。		
テキスト、参考文献		評価方法		
春学期に同じ。		春学期に同じ。		

03 年度以降	フランス語会話 a		担当者	M. ミズバヤシ
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計画		
connaissances et étudiants de pre	pour objectif l'acquisition de de techniques qui permettront aux endre la parole en français d'une contractée que possible.	(articles de évoquent la v Japonais d'auju départ de notre est d'améliore d'expression e étudiants qui a de la convers japonais et qui à tous les type Comme il n'e français, notre généralement d'échanger les Cette premièr d'échauffemen l'espace de 90	journal, claie quotidie ourd'hui. Ce e cours de cer sa capacen français. Aiment parleation aussi sont décides d'exercices par un par un parles nouvelles e partie cer d'oublier d'oublier	artir de matériaux divers hansons, publicités) qui inne des Français et des e matériel sera le point de conversation dont l'objectificité de compréhension et Ce cours s'adresse aux er, qui jouissent du plaisir i bien en français qu'en és à participer activement es proposés. Le de prendre la parole en conversation commencera petit tour de table afin de la semaine passée. du cours est une sorte isable pour perdre, en a langue japonaise. Voilà, le japonais pour laisser
テキスト、参考文献	<del>*************************************</del>	評価方法		
Photocopies Venir si possible av	ec un dictionnaire français.	premier semest étudiants qui s'ir	re ou du de nscrivent aux	on choix à faire vers la fin du euxième semestre (pour les « deux semestres). égulière au cours souhaitée.

03 年度以降	フランス語会話 a		担当者	M. ミズバヤシ
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計画		
connaissances et étudiants de pre	pour objectif l'acquisition de de techniques qui permettront aux endre la parole en français d'une contractée que possible.	(articles de évoquent la v Japonais d'auju départ de notre est d'améliore d'expression e étudiants qui à de la convers japonais et qui à tous les type Comme il n'e français, notre généralement d'échanger les Cette premièr d'échauffemen l'espace de 90	journal, chie quotidie ourd'hui. Ce e cours de cor sa capacen français. Aiment parleation aussi sont décides d'exercices par un	artir de matériaux divers nansons, publicités) qui nne des Français et des e matériel sera le point de conversation dont l'objectifité de compréhension et Ce cours s'adresse aux er, qui jouissent du plaisir i bien en français qu'en és à participer activement es proposés. Le de prendre la parole en conversation commencera petit tour de table afin de la semaine passée. Et du cours est une sorte esable pour perdre, en a langue japonaise. Voilà, le japonais pour laisser
テキスト、参考文献	<del>‡</del>	評価方法		
Photocopies Venir si possible av	ec un dictionnaire français.	Un exposé sur u l'année universit Contrôle continu Présence réguliè	aire.	on choix à faire vers la fin de souhaitée.

03 年度以降	フランス語会話 a		担当者	H.ドリエップ
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計画		
progresser afin qu naturelle en frança Cette année	ce cours est d'aider les étudiants à u'îls puissent s'exprimer de manière ais.  e, deux grands thèmes : le débat et les ivant les semaines et les désirs de		s ensemble à	a au gré de nos envies, et chaque cours ce que nous
A chaque cours, nous pourrons d'abord consacrer quelques minutes à discuter de ce qui se passe dans la vie quotidienne des étudiants ou dans le monde.				
Pour le débat, divisés par groupes, les étudiants choisiront un sujet parmi un éventail de thèmes faciles tirés de la vie quotidienne. Puis, après une préparation de quelques minutes, ils exposeront leurs arguments pour essayer de convaincre l'autre partie de leur groupe ou de la classe.				
	, nous nous essaierons aussi à des quels je participerai évidemment !			
テキスト、参考文献	t e	評価方法		
Pas de manuel à	acheter.	Une particip d'évaluation ser		sera bienvenue. Le mode emble.

03年度以降	フランス語会話 b		担当者	H.ドリエップ
講義目的、講義概要	E	授業計画		
			ensemble à	a au gré de nos envies, et chaque cours ce que nous
	e, deux grands thèmes : le débat et les ivant les semaines et les désirs de			
quelques minutes	ours, nous pourrons d'abord consacrer à discuter de ce qui se passe dans la s étudiants ou dans le monde.			
Pour le débat, divisés par groupes, les étudiants choisiront un sujet parmi un éventail de thèmes faciles tirés de la vie quotidienne. Puis, après une préparation de quelques minutes, ils exposeront leurs arguments pour essayer de convaincre l'autre partie de leur groupe ou de la classe.				
	, nous nous essaierons aussi à des juels je participerai évidemment !			
テキスト、参考文献	<b>;</b>	評価方法		
Pas de manuel à	acheter.	Une particip d'évaluation ser		sera bienvenue. Le mode emble.

03 年度以降	フランス語会話 a		担当者	A. ドフォス
講義目的、講義概要	· 更	授業計画		
Ce cours vise à c	e que les étudiants puissent utiliser et	La forme et le dér	oulement du c	ours dépendra en grande part du
développer leur cap	acité à parler en français. Le but est de	nombre des étuc	liants et du	niveau général de la classe.
donner au maximum	l'occasion aux étudiants d'utiliser de façon	Cependant, le pre	mier semestre	sera plus axé sur la pratique de
pratique la langue	française afin de pouvoir tenir une	conversations "de	tous les jours	s" et le second sur la capacité à
conversation. Cela i	mplique bien sûr de pouvoir parler mais	exprimer son opin	nion sur diffé	rents points, même de manière
aussi de comprendre	ce qui dit l'autre, sans quoi il n'y a pas de	simple. Comme	il s'agit d'u	in cours de conversation, la
"conversation".		participation activ	e de chaque ét	udiant est indispensable!
テキスト、参考文献		評価方法		
最初の授業で指示す	ける。			présence et la participation en
		classe. Si possible chaque semestre.	, un examen o	ral individuel aura lieu en fin de

03 年度以降	フランス語会話 b		担当者	A. ドフォス
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
春学期参照		春学期参照		
テキスト、参考文献	*	評価方法		
春学期参照	N	春学期参照		

03 年度以降	フランス語会話 a		担当者	S. ジュンタ
講義目的、講義概要	문	授業計画		
んだ事を全て生かいます。というでは、外では、外でのでは、外でのでは、外でのでは、から、料は、は、大きな、と、は、大きな、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	台めて四年目に入りました。三年間に学し言葉を使いこなし楽ししめることをすます。いつも私が話していることですけることは新しいもう一つの文化の発見レス文化を語る上で応れてらないでします。今年アンはないではないののではないのの方とでではないがあれてはならないがあればならないがあればならないがあればならなががでいたがあればならながができます。ではいた地プランス地の世の大きがあればないがあればいがあればいがあればいがあればいがあればいがあればいがあればいでででででででいまり、カーのとがは、ファンのはは、カーの中にとがは、カーの中にといるがあれば、カーの中にといるがあれば、カーの中にといる。「聞き取り入れます。「聞き取り入れます。「関いないのでは、人のでは、人のでは、人のでは、人のでは、人のでは、人のでは、人のでは、人	最初	]の授業で	指示します。
テキスト、参考文献	状	評価方法		
	IATIQUE DU FRANÇAIS - LA SAISONS - CD 付 第三書房	授業への参加館	<b>態度による</b> 評	呼価 (定期試験なし)

03年度以降	フランス語会話 b		担当者	S. ジュンタ
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
をと素をよ 映督 LUC BESSON フラ間取ったにそれられて授にをBESSON でにフ業関で LUC BESSON をと素をよ 映督 LUC BESSON DIVA, AMÉLIE POU 技界にあるインル LA GLOIRE MERE, 映のも追加コートをといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	は、最初に現在までに至るフランス の後著名な俳優 JEAN RENOや監 の紹介、また映画 LE GRAND BLEU, JLAIN, LES CHORISTESのシナリオ ロのフランス語を通し生きた会話を とめざします。その他、カンヌ映画界 が紹介します。もちろん忘れてはな DE MON PÈRE, LE CHATEAU DE MA D SUR LE TOIT, GERMINAL,などの こ名作も学び、フランス語の美しさ ことたいと思います。仏検2、3級の これでは発音を表している。 これでは これでは これでは これでは これでは これでは これでは これでは		]の授業で	指示します。
テキスト、参考文献	<b>.</b>	評価方法		
CAHIER THÉM	ATIQUE DU FRANÇAIS - LE	授業への参加態 	は度による評	呼価 (定期試験なし)
CINÉMA FRAN	ÇAIS - CD 付 第三書房			

03 年度以降	フランス語会話 a		担当者	В. レウルス
講義目的、講義概要	E	授業計画		
2 404	ス人と喋ってみょう」をテーマにフ 話せるようにします。	1~3 クラス イト、好きなこ		1るために:専攻、アルバ
るために語彙を増	受業、フランス語で自由に表現でき 増やし書く能力も身につけていく。 ns, documentaires, films, etc.から ラ学ぶ。			・選ぶ、カンヌ映画祭 部屋を探す、家に友人を
français. Au labo compréhension	e cours est la communication en pratoire de langue, les activités de et d'expression seront variées?: ments, chansons, extraits de films	呼ぶ		f:メニューを読む、注文
et de publicités.	Ensemble, découvrons la France vivre, régions, société.	をする		
		11~12 / ンスの地方	ベカンスの記	:計画、おみやげ、フラ
テキスト、参考文献	<del>,</del>	評価方法		
≪Picoti, Picota 「ピコティ・ピコ	2≫ ISBN 4-411-00923-4 ロタ 2」 駿河台出版社	授業へ積極的な	よ参加・試験	は学期末に行います。

03 年度以降	フランス語会話 b		担当者	В. レウルス
講義目的、講義概要	5 7	授業計画		
approfondirons r		3~5 好きな 6~7 美容雪ン 8~10 ショ	よもの、好き 室で:電話で コラから見	ペーで買い物をする なことの言い方 で予約、髪型、ネイルサロ したフランス・グルメ  活暦:クリスマス
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
≪Picoti, Picota 「ピコティ・ピニ	2≫ ISBN 4-411-00923-4 ロタ 2」 駿河台出版社	授業へ積極的な	よ参加・試験	は学期末に行います。

03 年度以降	時事フランス語 a		担当者	中村公子	
講義目的、講義概要		授業計画			
<授業目的>		扱う録音例(順名	不同)。		
フランス語の聴解(	=Compréhension orale)。様々	1. 電話の自動類	案内・留守番	電話	
なタイプのフランス	語聴解練習を通して、必要な情	2. 駅・ホテル	・レストラン		
報を聞き取るために基	凶要な「耳」の訓練を行う。	3. 市場・店内	での買い物		
<授業概要>		4. 天気予報・各地の気候			
フランス語を聞き、内容に関する質問に答えてい		5. 病院・緊急時			
く。また「聞く」たる	く。また「聞く」ために必要になる音の聞き分けを		6. 番組案内・映画案内・コマーシャル		
助けるために、発音練習やディクテもあわせて行う。 (仏検2級取得を目指す程度のレベル。)		7. 観光案内・旅行者			
		8. 時事問題のレジュメの聞き取り			
- I- W()		9. ニュース			
	スに長期留学/長期滞在をして	10. その他のテレビ・ラジオ番組			
いない人を対象に行います。フランスに長期滞在していた人はご遠慮ください。	11. 映画の一部抜粋				
(一ヶ月程度の語学		12. 物語・歌の	CD から抜粋		
( クカ性反り両子側	N Iらtみ 10/				
テキスト、参考文献		評価方法			
プリント。		出席、授業参加 定期試験。	叩態度、課題	<b>②の提出、小テスト、</b>	

講義目的、講義概要	授業計画
演義日的、講義概要   <授業目的> フランス語の聴解(=Compréhension orale)。様々なタイプのフランス語聴解練習を通して、必要な情報を聞き取るために必要な「耳」の訓練を行う。 <授業概要> フランス語を聞き、内容に関する質問に答えていく。また「聞く」ために必要になる音の聞き分けを助けるために、発音練習やディクテもあわせて行う。 (仏検2級取得を目指す程度のレベル。) この授業はフランスに長期留学/長期滞在をして	接集計画 扱う録音例(順不同)。 1. 電話の自動案内・留守番電話 2. 駅・ホテル・レストラン 3. 市場・店内での買い物 4. 天気予報・各地の気候 5. 病院・緊急時 6. 番組案内・映画案内・コマーシャル 7. 観光案内・旅行者 8. 時事問題のレジュメの聞き取り 9. ニュース 10. その他のテレビ・ラジオ番組
いない人を対象に行います。フランスに長期滞在 していた人はご遠慮ください。 (一ヶ月程度の語学研修は可。)	11. 映画の一部抜粋 12. 物語・歌の CD から抜粋
プリント。	評価方法 出席、授業参加態度、課題の提出、小テスト、
	定期試験。

担当者

中村公子

03 年度以降

時事フランス語 b

03年度以降 時事フランス語 a 担当者 井上 美穂 講義目的、講義概要 授業計画 授業の目標は、以下の3点です。 基本的にその週におきたニュースをとりあげ、それを3 つの練習の共通テーマとします。2006年のニュースを予測 1. フランス語のニュースを見て、その意味を理解する。 することはできませんので、以下に2005年度春学期の授 2. フランス語のホームページから必要な情報を探す。 業で扱ったテーマを参考として列挙します。 3. フランス語の新聞記事を読んで、意味を理解する。 モナコ大公死去 毎回の授業でも、この3つの目標に沿った練習を行いま 2 ローマ法王死去 す。まず、フランスのニュース番組の録画を見て、その大 3 エアバス A380、試験飛行 筋をつかむ練習をします。次に、そのニュースと同じテー 4 モナリザの部屋、改装成る マのホームページを見て、教員が準備した問題の答を見つ 5 国際熱核融合実験炉、フランスへ けます。最後に、やはり同じテーマの新聞記事を読み、教 6 カルロス・ゴーン氏、ルノーの CEO に 員が用意した質問に答えます。以上の3つの練習は、すべ 7 カンヌ映画祭 てパソコンを使って行います。 トーゴ大統領選挙 9 フランスのワイン消費減少 テキスト、参考文献 評価方法 単位を取得するには、75%以上の出席率が必要です。ABC 辞書を持参すること 等の評価は、学期末のテストの得点で決めます。

03 年度以降	時事フランス語 b	担当者	井上 美穂
---------	-----------	-----	-------

#### 講義目的、講義概要

授業の目標は、以下の3点です。

- 1. フランス語のニュースを見て、その意味を理解する。
- 2. フランス語のホームページから必要な情報を探す。
- 3. フランス語の新聞記事を読んで、意味を理解する。

毎回の授業でも、この3つの目標に沿った練習を行います。まず、フランスのニュース番組の録画を見て、その大筋をつかむ練習をします。次に、そのニュースと同じテーマのホームページを見て、教員が準備した問題の答を見つけます。最後に、やはり同じテーマの新聞記事を読み、教員が用意した質問に答えます。以上の3つの練習は、すべてパソコンを使って行います。

#### 授業計画

基本的にその週におきたニュースをとりあげ、それを3つの練習の共通テーマとします。2006年のニュースを予測することはできませんので、以下に2005年度秋学期の授業で扱ったテーマを参考として列挙します。

- 1 京都議定書
- 2 フランスの水質汚染
- 3 偽物商品
- 4 レジ袋、廃止へ
- 5 フランスの暴動
- 6 マグレブ三国
- 7 モナコ大公即位
- 8 初トリュフ市
- 9 クリスマス市
- 10 赤十字の新しいシンボルマーク

## テキスト、参考文献 評価方法 辞書を持参すること 単位を取得するには、75%以上の出席率が必要です。ABC 等の評価は、学期末のテストの得点で決めます。

03 年度以降	商業フランス語 a		担当者	Ch.パジェス
講義目的、講義概要		授業計画		
ロ頭及び文書できることを目標 つけることを目標 この授業では、 ーション(ビジネ 会話、アポイン)	かゆるシチュエーションにおいて、ロミュンケーションできる力を身にできるカを身にできる。 ビジネスにおける様々なシチュで、メントの作成、電話しし、 アメントの取り方など、商業フランス の練習を行いながら、商業フランス	<ol> <li>Décou</li> <li>Reche</li> <li>Les re</li> <li>Prene</li> <li>Organ</li> </ol>	lre contact	eprise mploi ns le travail par téléphone nploi du temps
テキスト、参考文献	<del>,</del>	評価方法		
プリント		出席、授業への	の参加態度及	なびテスト

03年度以降	商業フランス語 b		担当者	Ch.パジェス
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
ロ頭及び文書で つけることを目標 この授業では、 ーション (ビジネ 会話、アポイン)	のゆるシチュエーションにおいて、ロミュニケーションできる力を身に できる力を身に でジネスにおける様々なシチュエ マスレターやメモの作成、電話での マメントの取り方など)を設定し、 の練習を行いながら、商業フランス	7. March 8. Fabric 9. Passer 10. Promo		ats de l'entreprise ode d'emploi le ate ements
テキスト、参考文献	<b>t</b>	評価方法		
プリント		出席、授業への	)参加態度及	·びテスト

03 年度以降	商業フランス語 a		担当者	大井	正博
通常の日本人にはれ そこで擬似的なれ 題をあれこれ検討し の項目について学ぶ ①基礎的な商業月 ②ビジネス会話	どんなフランス語が使われているかは、 つかりにくい。 犬況を設定し、その際起こりうる各種問 している下記のテキストを使って、以下 ぶ。	授業計画  1 Faire la conna 2 Communique 3 Communique 4 Analyser des 5 Comparer des 6 Assurer la réc 7 Faire le portra 8 Répartir le tra 9 Découvrir les 10 Organiser ur 11 Avoir un entr 12 Faire face au	r oralement r avec des im situations de situations d eption et l'ac ait de la secr avail de bure bureaux de l n voyage d'af retien téléph	ages et des ges communication e communication ecueil étaire au 'entreprise faires onique	n on
	renfornis, "Le français de la ofessionnelle", CLE international	<b>評価方法</b> 出席、試験による	3.		

03 年度以降	商業フランス語 b		担当者	大井 正博
通常の日本人にはれ そこで擬似的なお 題をあれこれでで ①基礎的な商業 ②ビジネス人 ③フランス人の情	がんなフランス語が使われているかは、 のかりにくい。 代況を設定し、その際起こりうる各種問 している下記のテキストを使って、以下 。。 引語 費行及び発想に関する一般的知識	授業計画  1 Tenir le stand 2 Utiliser le rép 3 Suivre l'évolut 4 Connaître la c 5 Assister à une 6 Rédiger des ra 7 Découvrir la n 8 Lire un graph 9 Présenter une 10 Commencer o 11 Découvrir un 12 Améliorer le	ondeur télép tion du télép communication réunion apports et de tote de servici ique lettre comme et terminer u	hone on interne s comptes rendus ce serciale une lettre
テキスト、参考文南 M Davils at LeL D	t enfornis, "Le français de la	評価方法	Z	
	entornis, Le trançais de la ofessionnelle", CLE international	出席、試験によれ	పం	

03 年度以降	フランス語学概論 a		担当者	田中 善英
講義目的、講義概要	5	授業計画		
発音の面(音声学 (意味論)から、野年度は、動詞授なの時間は来年度のとな確認したで、制約を確認したで、制約を確認したで、制約を確認した。 その他:受持ち、受講者の受講を、受講される。 で、常に考える姿勢	との面(形態論)、構文の面(統語論)、・音韻論)、意味と構文との係わりの面見代フランス語の仕組みを解明する。今間以外を中心に講義する(時制につい授業目について現代フランス語における原はがら、仕組みを解明していく。 フランス語力は問わないが、フランス語学中には、随時、各自の意見を求めるの学を持っていて欲しい。初回の授業で2日布するので、受講予定者は必ず第1回ること。	第2回以降:以て [音声] ・フランズィ ・フランズィ 「短記で、知詞のが、 ・不定なのか。 ・否文と ・なぜ、、のが、 ・なぜ、、のが、 ・なぜ、、Que Pice は、 ・なぜ、 Que Pice は、 ・ Que Pice は、 ・ Que Pice は、 ・ は、 Que Pice は、 ・ は、 Que Pice は、 は、 など、 Que Pice は かん は か	下 音な 名い の 本が に を が に を が に を が の 大 が の 大 が の 大 が の 大 が の が の が の が の が の が の が の で が の で が の で が の で が の で が の に の と の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。	詞が付くことがあるのか。 定冠詞を用いた総称文とどう るのか。 存在するのか。 tt?とは言えないのか。 倒置は起こるのか。 み。
テキスト、参考文献	<del>,</del>	評価方法		
毎回プリントを配れて紹介する。	Fする。参考文献については必要に応じ	出席、授業への利価する。	漬極的参加姿	勢、論述形式の試験により評

03 年度以降	フランス語学概論 b		担当者	田中 善英
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
春学期に同じ。		春学期に同じ。		
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法		
春学期に同じ。		春学期に同じ。		

		-		
03 年度以降	フランス文学概論 a		担当者	伊藤 幸次
講義目的、講義概要	要	授業計画		
の学よると、	主として19・20世紀のフランス文学ただし単なる文学史ではなく、は現代でしまなる文学史ではなく、スは現代でします。19世紀のフランス文学をできます。19世紀のフランムないは、スは、はいいでは、カーの大のでした。では、からないの世界では、がりは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大の	ります。 1 授業方法、割介。 2 ディドロと 3 ボーマルシ:	で 「 面方法の解 『 百科全書』 エとオペラ 明 I:アンシ て、七月王政。 の人と作品 と作品 ダールの人と	作品

評価方法

レポートおよび平常点による。

テキスト、参考文献

伊藤幸次著『バルザックとその時代』渡辺出版 江花輝昭ほか著『フランス文学史』ミネルヴァ書房

参考文献:

03 年度以降	フランス文学概論 b		担当者	伊藤 幸次
雨上。		ります。 1~2 歴史入F 共和制、ベル・エ 3 デュマの人。 4~6 フロベー	門Ⅱ:第二帝 ポックなど。 と作品 ールの人と作 レール、ヴェ 人と作品	品ルレーヌ、ランボーの人と作
テキスト、参考文献 同上。	<del>戊</del>	<b>評価方法</b> 同上。		

03 年度以降	フランス語史 a		担当者	田中 善英
講義目的、講義概要	E	授業計画		
ス語において一見る要に応じてラテン記 その他:受講者のこに興味を持ち、授業で、常に考える姿勢	ス語の歴史を概説しながら、現代フラン 下思議に見える現象を解明していく。必 語についても触れる。 フランス語力は問わないが、フランス語 さ中には、随時、各自の意見を求めるの かを持っていて欲しい。初回の授業で2 己布するので、受講予定者は必ず第1回 ること。	第 2 回以・なぜ、70 を s ・なぜ、Charles は Français ないなぜ、なぜ、なぜ、か。「前されば、なが、ながで、おいいではでいた。は語では、たったなが、ながでいたが、「前のでは、からは語順なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、は語になが、はいいでは、たったが、はいいでは、たったが、はいいでは、たったが、はいいでは、たったが、はいいでは、たったが、はいいでは、たったが、はいいでは、たったが、ないが、はいいでは、たったが、ないが、はいいでは、たったが、ないが、ないが、はいいでは、たったが、ないが、はいいでは、ないが、ないが、はいいでは、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが	下生なれた。 ixante-dix oixante-dix c(次のには男)か。 gran 友生がありた。 女はいなが、 女はいながのではないです。 なが、大性のではあるがです。 なが、大性のではないです。 なが、大性のではないです。 はいのではないです。 はいのではないです。 はいのではないです。 はいのではないです。 はいのではないです。	と言うのか。 か。 でも s が付くのか。François mère ではなく、grand-mère なのに、 <u>mon</u> amie なのか。 emps なのか。 語の「に」「へ」「から」と多
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法		
毎回プリントを配れて紹介する。	fiする。参考文献については必要に応じ	出席、授業への利価する。	<b>漬極的参加姿</b>	勢、論述形式の試験により評

03 年度以降	フランス語史 b		担当者	田中 善英
講義目的、講義概要	5	授業計画		
春学期に同じ。		春学期に同じ。		
テキスト、参考文南	<u></u>	評価方法		
春学期に同じ。	•	春学期に同じ。		
37,73. 1. 4. 2. 0				

03 年度以降	フランス文学史 a		担当者	井村順一
講義目的、講義概要	5	授業計画		
絶対主義王政が確立し、フランス語が新しい形を整えた 17世紀の言語表現をとりあげ、さまざまな作家の業績を検 討する。同時にその根底となった、サロンにおける口頭言 語の価値について考える。		<ol> <li>近代フランス語の形成</li> <li>時代の概観</li> <li>バロックと古典主義(1)マレルブの業績</li> <li>同(2)コルネイユとデカルト</li> <li>同(3)パスカルと新しい散文</li> <li>アカデミー・フランセーズ</li> </ol>		
		<ol> <li>サロンと会認</li> <li>同</li> <li>ヴォージュラ</li> <li>プレシオジラ</li> <li>同</li> <li>むすび</li> </ol>	(2) ラの役割 テ (1) 概観	ニールの例
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
渡辺一夫・鈴木力衛 文庫別冊)	新著『増補 フランス文学案内』(岩波	学期末に論述る加味して評価する		を行う。これに出席状況等を

03 年度以降	フランス文学史 b		担当者	井村順一		
講義目的、講義概要	Ę C	授業計画				
		1. 春学期の要約	约			
17 世紀の言語表	現、特に口頭言語による表現を主題と	2. 口頭言語と	寅劇ーパスカ	ルの例、サロンの例		
し、劇詩人たちの業	<b>芝績を検討する、また、この時代の特徴</b>	3. 古典主義と	寅劇			
であるサロン文化を	☆描写したモリエールの『人間ぎらい』	4. コルネイユ				
の一部を分析する。		5. ラシーヌ				
		6. モリエール				
		7. 『人間ぎらい』の概要				
		8. 第2幕第4景の分析				
		9. 同上				
		10. 同上				
		11. 同上				
		12. むすび				
テキスト、参考文献	t .	評価方法				
渡辺一夫・鈴木力衛	<b>埼著『増補 フランス文学案内』(岩波</b>	学期末に論述	式の筆記試験	を行う。これに出席状況等を		
文庫別冊)		加味して評価する	5.			

03 年度以降	フランス語学各論 a		担当者	古川 直世
講義目的、講義概要	- 	授業計画		
るだけではなく、 うことを講義を追 トピックを春学其 を行なう. 講義の	いう外国語が「習得する」対象であ 同時に「考える」対象であるとい 通して学生へ伝えることをめざす。 明と秋学期にひとつずつ設定し講義 の重点はフランス語に見られるさま E理由について考えることにある。	1 全般的なス 2-4 代名詞 5-7 代名詞 8-10 代名 11 代名詞 12 まとめ	(1): 名詞 (2): 人称 詞 (3): 代	同と代名詞 5代名詞と中性代名詞 3名詞と照応
テキスト、参考文献		評価方法		
テキストはハント	ドアウトを配付する.	評価は試験成績	責と出席状況	ekka.

03 年度以降	フランス語学各論 b		担当者	古川 直世
るだけではなく、 うことを講義を追 トピックを春学期 を行なう. 講義の	・う外国語が「習得する」対象であ 同時に「考える」対象であるとい 通して学生へ伝えることをめざす。 用と秋学期にひとつずつ設定し講義 の重点はフランス語に見られるさま 理由について考えることにある。	授業計画 1-3 構文( 4-6 構文( 7-9 構文( 10-11 構文 12 まとめ	2):使役棒 3):受動態	精文 <構文
テキスト、参考文献	t アウトを配付する.	<b>評価方法</b> 評価は試験成績	責と出席状況	Lによる.

03 年度以降	フランス語学各論 a		担当者	小石	悟
語にないために日本です。フランス語がで問題になります。 でお感受性を養う必要 説明と多様な練習問	語はありませんが、冠詞は日本人とっては最もやっかいな問題かなり上達しても冠詞は最後まできるだけ早い時期に冠詞に対要があります。題を通して、冠詞およびその他ついての理解を深めたいと思い	授業計画  1. Etre + 冠詞 記記 2. Etre + 冠詞 記記 4. 否定 # 詞 動 計 2.	l (exercice 引 (exercice 冠詞 冠詞 (exercice とをあらわす とをあらわす とをあらわす	es) ces) 冠詞 le とles	un
プリント		試験			

03 年度以降	フランス語学各論 b		担当者	小石 悟
多少とも論理的な文を 譲歩、目的、仮定など 必要になります。品詞 など多様な表現を使い ての項目を取り上げる	に必要な文法を学習します。 書こうとすると、原因、結果、 文と文との関係を示す表現が 引的には接続詞、前置詞、動詞 分ける必要があります。すべ ことは不可能なので、特に原 表現を中心に学習します。	<b>授業計画</b> 1. 理由をあられる。 3. 理由をあられる。 4. 理由をあられる。 4. 理由をあられる。 5. 結果を表すする。 6. 結果を表すする。 8. 譲歩を表すする。 10. Articulate 12. Articulate	b す前 間 前 間 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞 詞	
テキスト、参考文献 プリント		試験		

03 年度以降	フランス文学各論 a		担当者	保苅 瑞穂
ュラスは現代フラン	を ユラスの小説「愛人」を精読します。デ ノスの女流作家として、日本でもよく知 ですが、その前衛的な手法によって一作	各自の考えを述	べてもらいま	せ、デュラスの文体について す。そのあとで、作者の自由 て、説明を加えたいと思いま
時代を題材にした- 枠をこえた自在なべ の文体は多彩な技法 読みにくい点がある	を得てきました。この作品は彼女の少女一種の自伝的な小説ですが、自伝というい説の世界を生み出しています。またそまを駆使した独自なもので、初学者にはるかもしれませんが、この授業が文学各って、あえてこの作品を選びました。と	す。受講生は予習をしてくること。作品の性質上、受講生 の数は20名程度にします。数が多い場合には、何らかの 方法で選考するかもしれません。		
	文学に意欲がある学生の受講を希望し			
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
「愛人」(朝日出版	社)	学期末の定期試験	験に、平常点	、出席を加味して評価します。

03 年度以降	フランス文学各論 b		担当者	保苅 瑞穂		
講義目的、講義概要	<del>-</del>	授業計画				
春学期の項目を参照	Ħ,	春学期の項目を参照。				
テキスト、参考文献	<del>,</del>	評価方法				
春学期の項目を参照		春学期の項目を	参照。			

03 年度以降	フランス語学講読 a		担当者	小石 悟
何かを考える。 フランス語を書いてる 不足していると思われ 授業では、そのような	なく、書くために必要な文法は みると、今までの文法だけでは れることがよくあります。この な欠落している部分を補いなが ていた文法項目について考えて	<b>授業計画</b> 1. 全体的な説明 2. いっかの 3. またまでである。 またまででは、 4. 時を表表制 7. 法というできる。 またまでは、 5. 場所を表現的 9. またまでである。 またまでは、 10. 手をできます。 12 またまでは、 11.手には、 12 またまでは、 12	動詞の用法 置詞 置詞(exercio f置詞	
テキスト、参考文献		評価方法		
プリント		テスト		

03 年度以降	フランス語学講読 b		担当者	小石 悟
講義目的、講義概要		授業計画		
春学期に同じ		<ol> <li>1. 属詞を導の位</li> <li>2. 形容 川の種</li> <li>3. 山川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の川の</li></ol>	置と意味 と位置 の種類 と法 と法(exer 、二重関係 、二重関係	詞
テキスト、参考文献		評価方法		
春学期に同じ		春学期に同じ		

03 年度以降	フランス語学講読 a		担当者	中村公子
講義目的、講義概要		授業計画		
する文献の講読を通報的な基礎知識を含まる。	して、まず日本語で書かれたものを読んから、同じような内容の文献をフランス深めていく。予習は必要になるが、特にり習得に重点をおく。 要望) 科教育法」を履修する学生、および教育学生は、できるだけ履修することをお勧うでない場合も、言語教育に関心のある	<ol> <li>フランス語</li> <li>フランススステランススストラシススのいる</li> <li>教材についる</li> <li>教動師のの役割</li> <li>教育師のの役割</li> <li>投業を組み</li> <li>担こ、授業を組み</li> </ol>	語教育と言語書 語教育と言語語 語教育とと言語語語 がいて(教材分析 リー 2 リー 3 こでてる コー 3 こでてる 2	数育の変遷 2 数育の変遷 3 所の方法等)1
テキスト、参考文献		評価方法		
プリント。参考文権	状は必要に応じて指示する。	出席、授業参加的	態度、課題(	予習等と含む)、試験。

講義目的、講義概要	授業計画
<講義目的> フランス語教育とその他の言語教育(日本語・英語)に関する文献の講読を通して、フランス語教育と言語教育の一般的な基礎知識を学ぶ。  <講義概要> 授業では、原則として、まず日本語で書かれたものを読んで概略を把握してから、同じような内容の文献をフランス語で読んで理解を深めていく。予習は必要になるが、特に授業で扱った内容の習得に重点をおく。  (担当教員からの要望)	1. Approche communicative 1 2. Approche communicative 2 3. Approche communicative 3 4. Compétence de communication 1 5. Compétence de communication 2 6. Compétence de communication 3 7. Stratégies d'apprentissage 1 8. Stratégies d'apprentissage 2 9. Stratégies d'apprentissage 3 10. Interactions 1 11. Interactions 2 12. まとめ (順番は変更することがある。)
「フランス語科教科教育法」を履修する学生、および教育 実習を行う予定の学生は、できるだけ履修することをお勧 めいたします。そうでない場合も、言語教育に関心のある 学生は大歓迎です。	(所用で変え) Succession (Minus in the Constitution of Constitutio
テキスト、参考文献	評価方法
プリント。参考文献は必要に応じて指示する。	出席、授業参加態度、課題(予習等と含む)、試験。

03 年度以降

フランス語学講読 b

担当者

中 村 公 子

03 年度以降	フランス語学講読 a		担当者	田中善英
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
大きなり、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ス語の文章を理解するために不可欠な 、様々な文体(物語、エッセイ、日記、 の1〜5行程度の文章を丁寧に読んで を1年間かけて読んでいくというような 期は仏検2級程度、秋学期は仏検準1	第2回以降:以一 定表現、部分否別 的構文、結果構成 使役構文、放任権 れば、それを扱	下のような構定、二重否定文、対立・譲 構文など。こ す。 まなど。こ は昨年度同様	進め方、予習方法の説明 文を扱う:否定構文(各種否 で)、強調構文、推量構文、目 歩構文、比較構文、時の構文、 れ以外にも受講生の要望があ であるが、文章自体は全て昨
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法		

出席、発表内容、授業への積極的参加姿勢、試験により評価する。授業中に1度も発表しなかった場合、規定回数以

上欠席した場合には、評価しない。

毎回プリントを配布する。

フランス語学講読 b		担当者	田中	善英
5	授業計画			
	春学期に同じ。			
₿ T	評価方法			
	春学期に同じ。			
		接 授業計画 春学期に同じ。	接 授業計画 春学期に同じ。 「	接業計画 春学期に同じ。

03 年度以降	フランス文学講読 a		担当者	横地 卓哉
講義目的、講義概要		授業計画		
いた戯曲 <i>Le Silend</i> 間にして約1時間、す。 戯曲というジャンルすが、耳で聴いてわけ ンス語としては平明ます。) おこなうことは講読	900 - 1999)がラジオ放送劇として書e (1964年)をよみます。上演時枚数にして38ページの短いものでに抵抗を感ずる人もいるかと思いまかるように書かれていますから、フラです。(難しさはほかのところにあり(lecture)です。広く「講読」の名和訳の授業ではありませんから、そのどさい。	第1回目の授業受講予定者は必ず		方等を説明します。 ださい。
テキスト、参考文献		評価方法		
Nathalie Sarraute Théâtre, Galliman	, Le Silence, collection Folio d	未定(基本的には数によっては変更		期試験によりますが、受講者

03 年度以降	フランス文学講読 b		担当者	横地 卓哉
講義目的、講義概要		授業計画		
		春学期参照		
テキスト、参考文献		評価方法		
	, <i>Pour un oui ou pour un non</i> , Théâtre, Gallimard	春学期参照		

03 年度以降	フランス文学講読 a		担当者	保苅	瑞穂
使用するテクストル 年時代の部分を選ん	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	授業計画 毎週、担当する過 そのあとで、 はます。受講者望者が多います。	要な文法上の 予習をして出 りますから、	説明や、内容の 席してくださ <i>v</i> 定員を40名程	)検討をを行い v。テクストの 是度にします。
<b>テキスト、参考文庫</b> プリントを教室で配		<b>評価方法</b> 学期末の定期試験	験と、平常点、	出席を加味し	て評価します。

03 年度以降	フランス文学講読 b		担当者	保苅 琉	岩穂
講義目的、講義概要	E	授業計画			
春学期の項目を参照	R.o.	春学期の項目を	参照。		
テキスト、参考文献	######################################	評価方法			
春学期の項目を参照		春学期の項目を	参照。		

03 年度以降	フランス文学講読 a		担当者	筒井	伸保
パンのシリーズの気 アルセーヌ・ルパン られている娯楽小記 心理小説家を構成の な文学の活劇な主 パンの活とはなく メージと読むことにな サルジと サルシの 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の 大人の 大人	マ (1864-1941) の怪盗アルセーヌ・ル 豆編小説を読む。 マはルブランの名声を高め、世界中で知 見だが、ルブランはもともと、純文学の し、怪盗ルパンのシリーズでも、文体、 気で、単なる娯楽小説を超えた、本格的 とている。日本で一般に広まっているルージ、さらに漫画の「ルパン3世」のイ なる、フランス純文学伝統の心理小説の なる。フランス語は決して易しくはな の学生に訳を担当してもらう。 可能性があるので、履修を希望する学生	授業計画 1回目:授業の記 2回目以降:講記		ンの紹介。	
テキスト、参考文献 Maurice Leblanc, Livre de Poche, 20	L'Arrestation d'Arsène Lupin, Le	評価方法 定期試験および 一度も授業中に 如何に関わらず、	沢を担当しな	い者は、出席・	

03 年度以降	フランス文学講読 b		担当者	筒井 伸伊	呆
講義目的、講義概要	ā c	授業計画			
春学期の続き		春学期の続き			
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法			
同上		同上			

03 年度以降	フランス文学講読 a		担当者	根本	祐徳
講義目的、講義概要	E	授業計画			
ラボー橋」の を読みます。 い作品ですが 味を持って授 彼は詩と視覚 現代芸術に	ている Le pont Mirabeau「ミ 詩人 Apollinaire のコント集 それぞれ10ページに満たな 、ある種の落ちがあるので興 業に参加出来ると思います。 芸術を統合することで、詩と 大きな影響を与えました。 と言う言葉も彼が最初に使っ たものです。	毎時間、受討に訳読しても加えながら角	ららい、そ	の後文法的	·
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法			
Choix de contes de アポリネールコント	e Guillaume Apollinaire 、集 第三書房	授業への参加度	と定期試験に	よる。	

03 年度以降	フランス文学講読 b		担当者	根本	祐徳
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画			
上に同じ		上に同じ			
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法			
上に同じ		上に同じ			

03 年度以降	フランス文学講読 a		担当者	伊藤 幸次
講義目的、講義概要	<b>ਦ</b>	授業計画		
と、フランス文化を解くキーワードが「社交」と「差別化」		介。 2~3 テレビ 涯の解説。映画	ドラマ『バル 『ゴリオ爺さ	说。作家、作品、参考資料の紹子ザック』を元にした作家の生ん』 2 編紹介。 注員のコメント、討論。 画像の
テキスト、参考文献	决	評価方法		
Balzac, <i>Le père Ge</i> 参考文献:伊藤幸》	<i>oriot</i> , LGF 欠著『バルザックとその時代』渡辺出版	7		ントによるプレゼンテーショ る。定期試験はない。

03 年度以降	フランス文学講読 b		担当者	伊藤 幸次
講義目的、講義概要		授業計画		
同上。		1~12 学生による発表。 と解説。	と教員による	コメント、討論。画像の紹介
テキスト、参考文献	*	評価方法		
同上。		同上。		

03 年度以降	フランス文学購読 a		担当者	M. ミズバヤシ
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
Objectif: Découvrir le plaisir de la lecture à une ou plusieurs voix. Lire seul en français n'est pas facile, mais si on parle avec d'autres personnes du texte qu'on est en train de lire, on se sent stimulé et on peut ainsi connaître la joie d'être allé jusqu'à la fin du livre.		Lecture suivie du livre, <i>Pierrot ou les secrets de la nuit :</i> Pierrot aime Colombine, son amie d'enfance, sa jolie voisine. Colombine est blanchisseuse et travaille le jour. Pierrot est boulanger et travaille la nuit. Bien difficile pour les deux amoureux de se retrouver ! Un jour, passe le bel Arlequin, le peintre aux couleurs de l'arc-en-ciel		
Contenu: Nous lirons ensemble un petit texte de Michel		Nous attacherons beaucoup d'importance à l lecture à haute voix, une fois que les pages lue		
Tournier: <i>Pierrot ou les secrets de la nuit.</i> Ce sera pour nous l'occasion de pénétrer dans un univers		ensemble auro temps, les par	ont été com ticipants de	prises. Dans un deuxième ce cours choisiront, parmi
		temps, les par	ticipants de	•

テキスト、参考文献	評価方法
Photocopies Un dictionnaire français	La lecture à haute voix Un rapport à la fin du semestre Présence régulière au cours Participation active au cours

seuls pendant « les grandes vacances ».

les secrets pendant le deuxième semestre.

Attention : nous continuons la lecture de *Pierrot ou* 

simplicité et une naïveté qui savent toucher aussi

bien les enfants que les adultes.

03 年度以降	フランス文学購読 b	ノス文学購読 b		M. ミズバヤシ		
講義目的、講義概要	2	授業計画				
in in in its image with a second of the sec		Nous continuerons la lecture du livre <i>Pierrot ou les secrets de la nuit</i> commencée en avril. Se reporter à ce qui a été écrit dans la case du premier semestre ci-dessus.  Nous attacherons beaucoup d'importance à la lecture à haute voix, une fois que les pages lues ensemble auront été comprises.  Une partie du cours sera consacrée à un travail de groupe autour du livre qui aura été lu pendant les vacances.  Très IMPORTANT: les étudiants qui s'inscrivent à mon cours en avril sont priés de suivre le cours pendant le deuxième semestre. D'autre part, je ne souhaite pas avoir de nouveaux étudiants er septembre, car ils arriveront en plein milieu de la lecture du livre commencée en avril, ce qui ne présente aucun intérêt.				
テキスト、参考文南	評価方法					
Photocopie Un dictionnaire fr	La lecture à haute voix Un rapport à la fin du semestre					

03 年度以降	フランス文学購読 a	売 a		井村順一
講義目的、講義概要	5	授業計画		
み、その劇構成を考	マリヴォーの下記作品を演習形式で読 考える。劇作品の翻訳には人物の性格、 角的・連続的な視点を要するから、毎回 されたい。	最初の授業で指	示する。	
テキスト、参考文献		評価方法		
Marivaux, Arlequi (こちらでプリント		平常の成績、お。	よび学期末の	筆記試験によって評価する。

03 年度以降	フランス文学購読 b	ランス文学購読 b		井村順一
講義目的、講義概要	E C	授業計画		
読み、その劇構成を	別作家ミュッセの下記作品を演習形式で 考える。劇作品の翻訳には人物の性格、 角的・連続的な視点を要するから、毎回 られたい。	最初の授業で指え	示する。	
テキスト、参考文献	**************************************	評価方法		
Musset, Un Caprio	ee	平常の成績、お。	よび学期末の	筆記試験によって評価する。
(こちらでプリント	を用意する)			

03 年度以降	フランス文化・社会概論 a				担当者	保苅	ī 瑞穂
講義目的、講義概要		授業	計画				
フランス文化・社会に	関する基礎知識を学ぶ。	1.	4/12	ガイ	ダンス	伢	· 以苅瑞穂
1 411 424 12 12 12 1	によって行われ、テーマは地理・歴	2.	4/19	地理		釺	木隆
史から日常生活まで多 フランス語. フランス	・岐にわたる。 に関することがらを学んでいくうえ	3.	4/26	地理		釺	木隆
で前提とされる基礎知	識、フランス語学科学生に要求され	4.	5/10	地理		釺	木隆
	「常識」を身につけるための講義であ 」・社会を専攻しようとするものに対	5.	5/17	地理		釺	木隆
してはもちろんのこと	、フランス語学・文学を専攻しよう	6.	5/24	歷史		伊	₿藤幸次
とするものに対しても	、第一年次で受講することを強く勧	7.	5/31	歷史			₿藤幸次
<b>講義スケジュール</b> の詠	価方法、受講上の注意について、第	8.	6/7	歴史	1	Œ	甲藤幸次
1回目(4月12日)	のガイダンスで詳しい説明を行うの	9.	6/14	経済		千代浦昌道	
で、受講希望者は必ず	*出席すること。 	10.	6/21	経済		₹	一代浦昌道
		11.	6/28	経済		Ŧ	一代浦昌道
		12.	7/5	まと	め	1	R 苅瑞穂
テキスト、参考文献		評価方法					
全般に関するものは第1回目のガイダンスで、個々のテーマに関するものは各担当者が授業時に紹介する。			定期試験 平常点(毎回出席カードで出欠をとる。ただし出席カー の不正は減点の対象となる)				だし出席カード

03 年度以降	フランス文化・社会概論 b				担当者	保苅 瑞穂
講義目的、講義概要		授業	計画			
春学期参照		1.	9/27	政治	4	井上スズ
月-1-20100 201		2.	10/4	政	怡	井上スズ
		3.	10/11	政治	4	井上スズ
		4.	10/18	フラ	ランス語と世	界田中善英
		5.	10/25	フラ	ランス語と世	界田中善英
		6.	11/ 1	フ	ランスの教育	筒井伸保
		7.	11/8	フ	ランスの教育	筒井伸保
		8.	11/15	フラ	ランスの美術	前川久美子
		9.	11/29	食び	大化	江花輝昭
		10.	12/6	食文	化	江花輝昭
		11.	12/13	食り	文化	江花輝昭
		12.	12/20	まる	とめ	保苅瑞穂
テキスト、参考文献		評価	i方法			
春学期に同じ			期に同じ	じ		

03 年度以降 (春学期完結)	フランス事情		担当者	江花	輝昭
講義目的、講義概要	,	授業計画			
ンヌ」を知っているいます。どういういの国旗は三色旗なの謎とは? こうい 講する価値があるか こうした現在おより像、標語、紋章、記担ってきた役割につ		2 マリソン 3 4 トリリリョー・マンフロー・6 6 ラフフル 6 7 フララ 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ヌ(2) マル(1) ール(2) 等、友愛 セイエ回 の地図(六角 の記念碑	形)	
テキスト、参考文献		評価方法			
「事典 現代のフラ	ランス」(大修館書店)	学期末の定期試験 2以上出席しなり			*

03 年度以降 (秋学期完結)	フランス事情		担当者	根本 祐徳
講義目的、講義概要	5 7	授業計画		
「フランスは人間の るべき姿の探求を国った人がいたが、確 ニュ、17世紀のパ ュイエールから 20 が現実の人間とか、 俗習慣などに様々な	で生き方へのひたすらな関心とそのある民の趣味として発達させ・・・」と言葉かにフランスには 16世紀のモンテースカル、ラ・ロシュフーコー、ラ・ブリ世紀の作家まで優れたモラリストたち社会などを鋭く観察して、人間性や風な考察を加えている。それらの考察を通べ況を観察していきたい。	いろんな作家のでを進めていきたい		がら、受講者と話し合い授業
テキスト、参考文献	*	評価方法	レルポールフ	<b>-</b> - Z
プリント配布		授業への参加度の	とレかートに	± ⊙.

03 年度以降	フランスの地誌 a		担当者	鈴木	隆
取り組み等を知り、 を深めると同時に、 の地域のあり方を表 地域の概念と実体 説明し、さらに具体 ながら講義を進める	を スの地域に関して、その実状、課題、 それを通してフランスについての理解 人間の生活もしくは諸活動の場として きえることを目的とする。 はおよび地域の分析の方法などについて は的な地域を対象として資料等を参照した。 資料はフランス語で書かれたものを はある程度のフランス語の読解力を必要	授業計画1地域の概念2地域のの概念3地域のののを6小近代のの歴を7近代のの地地方9近代のコミュューーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	と実体(続) (続) (続) 間度度(続) 間度度(域域連連連連連連連連連連	(続)	
<b>テキスト、参考文献</b> テキストは用いたの中で必要に応じて	·· ない。資料を配布する。参考文献は授業	<b>評価方法</b> 中間および期末	末の試験によ	って評価する。	

03 年度以降	フランスの地誌 b		担当者	鈴木 隆
取り組み等を知り、 を深めると同時に、 の地域のあり方を表 地域の概念と実体 て説明し、さらによ しながら講義を進め	を		(続) (続) (続) 也域の再生 也域の再生( 也域の再生( 地域の再生(	続)
テキスト、参考文献 テキストは用いた の中で必要に応じて	よい。資料を配布する。参考文献は授業	中間および期末の	の試験によっ	て評価する。

03 年度以降	フランスの歴史 a		担当者	藤田 朋久
講義概要: フランス史の概説を 時代を概観した上す。また関連史料を 参考文献: 福井憲彦編「フラン	•	授業計画  1. イケック (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	ト時代 =ローマ時代 l) 2) ついて (1) ついて (2) l) 2)	
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
プリント配布。		試験、平常点、7	など。	

03 年度以降	フランスの歴史 b		担当者	藤田	朋久
講義概要: フランスを時代を概観連びで、各時代を関連です。 参考文献: 福井憲彦編して文献に	を知識を習得する。 医史的な特質を理解する。 とおこないます。16世紀から19世紀また上で、個別的な問題を取り上げて論 と料を読んだり、ビデオなども見る予定 ・ス史」(新版世界各国史12)山川出版 こついては、教室で指示する。	授業計画       1. イントロダ:       2. 16世紀 (1)       3. 16世紀 (2)       4. 17世紀 (2)       6. 18世紀 (1)       7. 18世紀 (2)       8. フランス革1       9. フランス革1       10. 19世紀 (1)       11. 19世紀 (2)       12. まとめ	命(1) 命(2)		
テキスト、参考文献 プリント配布。	n.	<b>評価方法</b> 試験、平常点、	など。		

03 年度以降	フランスの思想 a		担当者	筒井	伸保
講義目的、講義概要	要	授業計画			
かれた初めではません。 ではいい ではいい ではいい ではいい ではいい ではいい ではいい ではい	された『方法序説』は、フランス語で書学書というフランス語史上の画期的ななく、そこで提示された「方法」概念と考える」を意味するラテン語。思惟主体を指す)の問題によって、ヨーロッパ近た革命的な書物である。『方法序説』の世紀のフランス語で、現代の語法と若干るが、平明簡潔な文章で、努力すれば2	1回目:授業の記 2回目から数回 その後:『方法序	: デカルトの	時代と生涯	
テキスト、参考文献	tt .	評価方法			
philosophie. 翻訳	rs de la méthode, Classiques Hachette : デカルト(谷川多佳子訳)『方法序説』 は秋学期の欄を参照。	定期試験に平常	点(出席、予	習の程度)を加	味する。

03 年度以降	フランスの思想 b		担当者	筒井	伸保
講義目的、講義概要	Ę	授業計画			
春学期の続き。		春学期の続き。			
	<b>.</b> \$	評価方法			
同上。辞書:『新ス	タンダード仏和辞典』か『ロワイヤル	同上。			
仏和中辞典』を引く 級者用辞書では語彙	(こと(電子辞書、「ディコ」などの初 なが全く足りない)。				
NA LITTE E CIARLE	CN ( //L / '6 ( /)				

03 年度以降	フランスの美術 a	担当者	前川久美子	
講義目的、講義概要	<del>.</del>	授業計画		
フランスに限れつつ、その比点 します。全カリ、 用編と考えてくれ 本年度は西欧 読みながら考え 一方的な「講 考え、積極的に持 もて、積極的に持 第一回目に聴	定せず西洋美術史全体を視野に入 較的限定された一つの問題を追及 歴史と文化(IV)(西洋美術史)の応 ださい。 の建築について、日本語の文献を	1 イント	ロダクショ 読、関連事	ン・項についての発表など
	て人数の調整をしなければならな			
い可能性もありる	<b>より</b> ん			
テキスト、参考文献	状	評価方法		
授業中に指示し	ます。	平常点(課題への授業への貢献		と成果および発言など による。

03 年度以降	フランスの美術 b			担当者	前川久美子
講義目的、講義概要	5 C	授業計画	1		
同上		1~12	夏休み	の課題の発	表、文献講読など
テキスト、参考文献	#	評価方法	<u> </u>		
同上		同上			

03 年度以降	フランスの音楽 a		担当者	松橋 麻利		
講義目的、講義概要		授業計画				
によって音楽表現に 根底にある考え方や 19世紀から20世 スを中心に、ドイツ にも焦点を当てる。 用しながら進めてい	はいによって、また時代思潮との関わりまどのように変わっていくのか?表現のや感性を比較してみていく。世紀初めまでの時代を対象とし、フランノ、周辺のスペイン、ロシアのほか東洋できるだけ音楽、楽譜、映像などを活いくので、その体験と理解を通して、受性と、それに反応する自分の感性を見つりである。	1.19世紀ドイツ・ロマン派の主観的表現:シューマン、ショパン 2.19世紀前半のフランス音楽の絵画的色彩的探求:ベルリオーズ 3.リストによる民族主義の解放 4.ヴァーグナーの究極のロマン主義 5.印象主義絵画とドビュッシー 6.象徴主義文学とフォーレ、ドビュッシー、ラヴェル(1) 7.象徴主義文学とフォーレ、ドビュッシー、ラヴェル(2) 8.エグゾティスムとしてのスペイン民族音楽 9.ジャポニスムと東洋 10.クラシックとジャズ 11.ドイツ・ロマン主義の解体の先にあるもの:シェーンベルクの12音音楽 12.20世紀ロシアのバーバリスム:ストラヴィンスキー				
テキスト、参考文献	テキスト、参考文献 評価方法					
テキストは使用せず 参考文献は授業中に	ド、プリントを配布する。 ニ紹介する。	出席と試験による	5.			

03 年度以降	フランスの音楽 b		担当者	松橋 麻利
ッシー、ラヴェルの 半あたりまでのフラ できるだけ音楽、 いくので、その体	かった 19 世紀後半(フォーレ、ドビュウ残した部分も含める)から 20 世紀前ランスの作曲家をみていく。 楽譜、映像などを活用しながら進めて食と理解を通して、受講生は芸術の多様する自分の感性を見つめなおすことが目		ショーソンの 練 の示唆したも 中性と変形し サークなサティ ランス六人 を で 神性ななサティ で で で か が が が で が で が り が で が り で が り が り が り が	5の したロマン性 (1) したロマン性 (2) { 且
テキスト、参考文献       評価2         テキストは使用せず、プリントを配布する。       出席 &         参考文献は授業中に紹介する。			3.	

03 年度以降	フランスの演劇 a		担当者	江花 輝昭
とにと、したで、したで、したで、したで、したで、したで、したで、したで、したで、したで	ドレエ -宮 廷舞踏からオペラ・バレエへ」 6世紀から 18世紀にかけてのフランス エの成立からその発展的解消までの歴	3 「王妃の演覧 4 宮廷バレエ( 5 ルイ 13 世期	誕生 ら宮廷バレエ 劇的バレエ」 の身体技法 別のバレエ 容は変更され	

評価方法

学期末の定期試験による評価。ただし、原則として3分の

2以上出席しなければ、単位取得は不可とします。

テキスト、参考文献

03 年度以降	フランスの演劇 b	担当者	江花	輝昭	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画			
春学期の続き。		秋学期は主に次の 1 ルイ 14 世期 2 「夜のバレコ 3 宮廷祝祭とり 4 モリエールの 5 オペラ・バー なお、上記の内容 安程度に考えて、	のバレエ エ」 バレエ のコメディ・ レエの誕生 容は変更され	バレエ	きす。一応の目
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法			
なし		学期末の定期試験 2以上出席しない			

03 年度以降	フランスの政治 a	フランスの政治 a		井上 スズ
治の全体像をとらえ 現代フランスの とは異なる点も多い にも注目していきな	トを使用して、かなり幅広くフランス政 さることを講義の目的とする。 改治は、他のヨーロッパ諸国の民主主義 いので、このいわゆる「フランス的例外」 たい。 なお外交に関しては、テキストの つれるので、他にプリントで補うことに	授業計画1. 第五共和制2. 同上3. 第五共和制4. 同上5. 同上6. 中央行政機7. 同上8. 地方自治と9. 同上10. 国民と11. まとめ	の基本的枠組 構	
	<b>状</b> 一編 『フランスの政冶』 大学出版部	<b>評価方法</b> 出席と試験		

03 年度以降	フランスの政治 b		担当者	井上 スズ	
講義目的、講義概要	- 	授業計画			
	93年以後の制度変化には及ばないのこプリント等で補う.	3. 同上 (以上 4. フランス外2 5. ドゴール外2 6. 同上	卜交		
テキスト、参考文献		評価方法			
	-編 『フランスの政治』 大学出版部 (一部使用)	出席と試験			

03 年度以降	フランスの経済a		担当者	千代浦昌道	
講義目的、講義概要		授業計画			
講義目的		1. 簡単な経済	<b>斉用語の基礎</b>	<b>姓知識</b>	
フランス経済の	歴史と現状を学び、その知識を世界	2. フランス経	済の基礎デ	ータ	
と日本の政治・経済	済・社会諸問題についての正しい見	3. 経済発展と	工業化につ	いての一般的基礎知識	
方・考え方に役立	てる。	4. フランス産	業革命の特	徴	
		5. フランス産	業革命前史	(旧体制下の経済と社会、	
講義概要		フランス大	革命とナポレ	/オン一世の時代)	
フランス経済の	現状の概観を説明した上で、現在	6. フランスの農業と産業革命			
のフランス経済の	歴史的背景を形成している、主に1	7. フランスの工業化と人口問題			
8世紀以後第二次	大大戦前までのフランス経済発展史	8. フランスの天然資源問題と工業化			
について講義する	) <sub>o</sub>	9. フランスの保護主義と植民地経営			
		10. フランスの金融制度の発展と工業化			
		11. フランス工業化の社会的諸条件			
		※春学期は上	記項目を扱	う。	
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法			
テキスト:統計資料な	さどを随時に配布する。参考文献:服部春		式験による。 と	出欠は成績評価の参考資料	
彦、谷川稔編著『フラ	シンス近代史』(ミネルヴァ書房、1993)	とする。			

03年度以降	フランスの経済b			担当者	千代浦昌道
講義目的、講義概要	평	授業	計画		
と日本の政治・経 方・考え方に役立 講義概要		1. 2. 3. 4. 5. 6.	戦後フラン経済計画はドゴール時ジスカールミッテランド	ルスの政治と対して と第一次国石 「代とポンピート でスタン時 、デスタン経済」	ドゥー時代の経済政策 代とバール・プラン 政策(第二次国有化期と社
第二次世界大戦後のフランス経済の成長と変遷を、おもに経済計画と企業国有化・民営化の流れに沿って説明する。		会主義政策、保革共存と民営化、欧州連合とフランス経済) 7. シラク大統領時代の経済政策と経済の現状 ※秋学期は上記項目を扱う。			
テキスト、参考文献		評価	i方法		
	どを随時に配布する。 著『フランス現代史』(中公新書、1998)		明末の定期記 :する。	試験による。	出欠は成績評価の参考資

# 講義目的、講義概要

#### (シモーヌ・ド・ボーヴォワールの生きた 20 世紀)

ボーヴォワール(1908-86)の生きた 20 世紀はどんな時 代だったのか、彼女はそこに一人の女性としてどのように かかわったのか、特に『第二の性』の著者として、また1970 年代の女性解放運動をとおして、女性の状況の変化にどの ように貢献したのかを、彼女自身の作品や証言、ビデオな どをとおして学びます。

20世紀フランス社会の変化について学ぶことで、これか らの日本や世界について、そのなかで私たちはどう生きて いけばいいのかを、一人ひとりの問題として考えてほしい と願っています。

# 授業計画

前期は、彼女の思想のバックボーンでもある実存主義の 哲学や当時の女性教育制度、また二つの世界大戦などの時 代背景、『第二の性』(1949) について。後期は、アルジェ リア戦争、五月革命を経て、第二波フェミニズム(1970年 代)などが女性の状況に与えた影響、そして現状はどうな のかについて学びます。

前・後期で一貫した授業ですので、その点を考慮して選 択してください。

毎学期、授業の初回に、より詳しい計画を示します。

#### テキスト、参考文献

適宜、関連文献リストや資料を配布します。

#### 評価方法

- ・前期のみレポートを提出してもらいます。
- ・授業は履修者の発表や討論も加えて進みますので、それ らを合わせて評価します。

フランス文化・社会各論 b 03年度以降 担当者 井上たか子

### 講義目的、講義概要

#### (シモーヌ・ド・ボーヴォワールの生きた 20 世紀)

ボーヴォワール(1908-86)の生きた 20 世紀はどんな時 代だったのか、彼女はそこに一人の女性としてどのように かかわったのか、特に『第二の性』の著者として、また1970 年代の女性解放運動をとおして、女性の状況の変化にどの ように貢献したのかを、彼女自身の作品や証言、ビデオな bのみの履修は遠慮ください。 どをとおして学びます。

20世紀フランス社会の変化について学ぶことで、これか らの日本や世界について、そのなかで私たちはどう生きて いけばいいのかを、一人ひとりの問題として考えてほしい と願っています。

### 授業計画

前期に学んだことを土台として、後期は、アルジェリア 戦争、五月革命を経て、第二波フェミニズム(1970年代) などが女性の状況に与えた影響、そして現状はどうなのか について学びます。

前・後期で一貫した授業ですので、その点を考慮して、

## テキスト、参考文献

適宜、関連文献リストや資料を配布します。

## 評価方法

- ・授業は履修者の発表や討論も加えて進みますので、それ らを合わせて評価します。
- ・bのみの受講者にはレポートを提出してもらいます。

03 年度以降	フランス文化・社会講読 a		担当者	井上 スズ
講義目的、講義概要		授業計画		
のフランス社会へいる. 昨年11月ほぼランスの過去の植」 法律への批判を巻き 『旧植民地の帰還さ 社会党も「うっかり しまったものであっ 刊誌等が詳細に報道	株深いと思われる移民問題を読み、今日の関心を呼び起こすことを目的としてフランス全土に及んだ移民の暴動はフ民地支配にもプラス面があったとするを起こした。この法律は2005年2月音支援法』の中の一条文で、制定時にはりして」そのまま反対もなく可決されてった。この問題は、フランスの新聞・週値している。そこでこの種の論議を講読り移民の問題を考えてみよう。	最初の授業で指	示する.	
テキスト、参考文献	#	評価方法		
LE Monde,11-12 d LE Nouvel Observ 以上テキストはプリ	ateur,10-16 nov.,8-14dec.2005	出席と試験		

03 年度以降	フランス文化・社会講読 b		担当者	井上 スズ
る. そこでフランス 思想によって行われ	に問題は、実は歴史的に根深い問題であ なにおける植民地形成がどのような党派 いたのかについて、より良く知るための る. テキスト全部の講読は不可能で、も	授業計画 最初の授業で指え	示する.	
<b>テキスト、参考文献</b> R.Girardet ,L'idée (テキストはプリン	coloniale en France	<b>評価方法</b> 出席と試験		

03年度以降	フランス文化・社会講読 a		担当者	PH. ヴァネ
講義目的、講義概要		授業計画		
But du cours :		1 Articles tirés d	e journaux po	our enfants.
Pouvoir lire et com	prendre des textes à contenu politique,	2		
sociologique ou éco	onomique.	3		
Contenu : Au dé	Ebut, lecture d'articles destinés aux	4		
collégiens et lycée	ens sur des sujets d'actualité ayant			
rapport à la Frai	nce et aux relations internationales	5		
(Europe, francopho	onie, ONG, etc.). Plus tard, les articles	6 Petit test de vocabulaire		
seront tirés des jour	rnaux habituels.	7		
<u>Méthode</u> :		8		
Je donne, une sema	aine à l'avance, le texte et une série de	9		
questions à prépare	er. Pendant le cours : lecture, réponse			
aux questions, trav	ail sur quelques points de grammaire,	10		
informations sur le	point abordé dans le texte.	11		
		12		
テキスト、参考文献		評価方法		
Photocopies				examen semestriel : préhension des textes

03 年度以降	フランス文化・社会講読 b		担当者	PH. ヴァネ	
講義目的、講義概要	5	授業計画			
Suite du premier se	mestre	1 Articles tirés d	le journaux p	our lycéens	
Suite du premier se	Suite du premier semestre				
		3			
		4			
		5			
		6 Petit test de vo	de vocabulaire (facultatif)		
		7			
		8			
		9 Articles tirés d	s de journaux courants		
		10			
		11			
	12				
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法			
Photocopies				examen semestriel : préhension des textes	

03 年度以降	フランス文化・社会講読 a		担当者	藤田朋久
講義目的、講義概要 講義目的: *フランス語の読解力を高める。 *フランス中世の歴史や社会に対する理解を深める。		ンス語訳で読みる	ます。またエ	、もとのテクストを現代フラ リック・ロメールの映画「聖 1978)もあわせて鑑賞します。
	受する物語作家、クレチアン・ド・トロ いまたは聖杯の物語」を読みます。			
テキスト、参考文献 Ariane SCHREDER, <i>Perceval ou le roman du Graal</i> , Hatier, 2003.		<b>評価方法</b> 平常点、試験、2	など。	

03 年度以降	フランス文化・社会講読 b		担当者	藤田朋久	
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要		授業計画		
講義目的: *フランス語の読角 *フランス中世のM	¥力を高める。 逐史や社会に対する理解を深める。	一般向けの歴史を定です。	維誌に掲載さ	れた評論などを数点読む予	
講義概要:					
クレチアン・ド・ト	、ロワの作品や、さらに広く「アーサー				
王物語」や「聖杯伝	説」について書かれた評論を読みます。				
テキスト、参考文献		評価方法			
	NCNER, "Chrétien de Troyes et la légende ' <i>Histoire</i> , H.S. No.16, 2002, pp.64-69, 他。	平常点、試験、7	など。		

03 年度以降	フランス文化・社会購読 a		担当者	田桐 正彦
が目的ではなく、こ な授業です。★印0 少人数のグループに	ざまなテキストを読みますが、それだけ フランスの文化に親しもうという雑学的 D回には発表をしてもらいます。教室を C分けて授業をします。	・ 名 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	語ちのめめ、将科み、のツ語・・・圏の美ぐぐ、書理方各スー圏俳俳像を、おっつ、ド劇のので、おいいののののののののののののののののののののののののののののののののいいが、	その1 下読み 1 2 理など フランス、全仏オープンなど
	ば と配布します。参考資料についてはアド インターネットも活用しましょう。	平常点、出席状治	兄で評価しま	<del>す</del> 。

03 年度以降	フランス文化・社会購読 b		担当者	田桐 正彦
講義目的、講義概要	문	授業計画		
が目的ではなく、こ な授業です。★印の	ざまなテキストを読みますが、それだけ フランスの文化に親しもうという雑学的 D回には発表をしてもらいます。教室を こ分けて授業をします。	・ ファッション記 ・ ファッション記 ・ フランス映記 ・ ★歴史と概論、題 ・ シナリオを読む ・ シナリオを読む ・ 鑑賞 1 ・ 鑑賞 2 シナリ ・ オカたしのおすっ ・ 選賞 1 ・ 鑑賞 2 歌詞。	発表テーマのマスター講座ファッション記事・広告を読記事・広告を読記を紹介などは、その1は、その2リオを読む。そのはないまで表記を読むなどがある。	その1 込んでみよう その1 込んでみよう その2
テキスト、参考文献	<b>状</b>	評価方法		
	を配布します。参考資料についてはアド インターネットも活用しましょう。	平常点、出席状态	兄で評価しま	

03 年度以降	フランス文化・社会講読 a		担当者	鈴木 隆
り、フランスの文化 り高度なフランス記 本年度の講義では に関する文献を取り	の講読を中心として講義を行うことによ とと社会について理解を深め、且つ、よ 語の習得を図ることを目的とする。 は、フランスの自然環境および生活環境 り上げる。受講生は予め割り当てられた を行う。その後で発表内容についての補	3 フランスの  4 フランスの  5 フランスの  6 フランスの  7 フランスの  8 フランスの  9 フランスの  10 フランスの 11 フランスの	自然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然然	岸・山岳 (続) 岸・山山岳 (続) 岸・山山岳 (続) 岸・山山岳 (続) 岸・山山岳 (続) 岸・・山岳 (続) 岸・山岳 (続) 岸・山岳 (続)
テキスト、参考文献 講読の資料を最初 応じて授業の中で約	70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 7	12 フランスの         以上の計画には         評価方法         中間および期末の	多少の変更も	ありうる。

03 年度以降	フランス文化・社会講読 b		担当者	鈴木	隆
り、フランスの文化 り高度なフランスま 本年度の講義では に関する文献を取り	の講読を中心として講義を行うことによ とと社会について理解を深め、且つ、よ 語の習得を図ることを目的とする。 は、フランスの自然環境および生活環境 り上げる。受講生は予め割り当てられた を行う。その後で発表内容についての補	<b>授業計画</b> 1 フランスの名 2 フランスの名 3 フランスの名 7 フランスの名 7 フランスの名 7 フランスの名 7 フランスの名 9 フランスの名 10 フランスの名 11 フランスの名 12 フランスの名 12 フランスの名 12 フランスの名 12 フランスの名 12 フランスの名 12 フランスの名 15 フランスの名 16 ブランスの名 17 ブランスの名 17 ブランスの名 18 ブランスの名 18 ブランスの名 18 ブランスの名 18 ブランスの名 19 ブラ	社会とと環境( (環境( ( 会会とと環境( ( 社会とととととと をととととととととととととととととととととと ででは は は は は は は は	続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続	
テキスト、参考文献 講読の資料を最初 応じて授業の中で約	の授業で配布する。参考文献は必要に の授業で配布する。参考文献は必要に	評価方法 試験によって評価 考慮する。	画する。ただ	し、授業中の発	表もある程度

03 年度以降	フランス文化・社会講読 a		担当者	前川久美子
講義目的、講義概要	<del>.</del> <del>2</del>	授業計画		
美術作品につ	いて書いたフランス語のテキスト	1~12 訳読なと	Liv -	
を読みます。				
文法事項を復	習しながら、たんねんに辞書を引			
き、文章の構造	を把握したうえで、訳文を書いて			
授業にのぞんで	ください。			
第一回目に聴	講者を決定したいので必ず出席し			
て、許可をとって	たうえで登録してください。(聴講			
希望者が多すぎ	て人数の調整をしなければならな			
い可能性もあり	ます)。			
テキスト、参考文献	<b></b> 状	評価方法		
プリントを配りる	ます。	***		けで得点できるテスト
		にする予定は	ありません	)と平常点による。

03 年度以降	フランス文化・社会講読 b		担当者	前川久美子
講義目的、講義概要	E	授業計画		
同上		同上		
テキスト、参考文献	*	評価方法		
同上	,	同上		

03 年度以降	フランス文化・社会購読 a		担当者	F. ルーセル
講義目的、講義概要	<b>E</b>	授業計画		
meilleure compréh françaises contempe maîtrise de la lang compréhension écra Nous travailleror (journaux, magazi seront distribués à préparer.  Une participation étudiants.	le but de cours est de vous permettre d'acquérir une deilleure compréhension de la société et de la culture compréhension de la société et de la culture compte l'acture participants. It is de la langue française (notamment en mpréhension écrite et expression orale).  Exemples de l'école en Fravie, le ciném relations interpréhensions à l'avance pour vous permettre de les éparer.  Exemples de l'école en Fravie, le ciném relations interpréhensions à l'avance pour vous permettre de les éparer.		té immédiate èmes étudiés e, les vacanc a chanson, la ationales, le	variés, en prenant aussi en e, et les demandes des : la famille en France, es, le travail, les modes de a politique intérieure, les Japon vu de France, émoire
テキスト、参考文献	<del>,</del>	評価方法		
Les documents uti	les seront distribués en classe.		gulière au co	de deux éléments : la ours (2/3 de la note), et un 1/3 de la note).

03 年度以降	フランス文化・社会購読 b		担当者	F. ルーセル
講義目的、講義概要		授業計画		
meilleure compréh françaises contempe maîtrise de la lang compréhension écre Nous travailleron (journaux, magazit seront distribués à préparer.  Une participation étudiants.	st de vous permettre d'acquérir une ension de la société et de la culture poraines, tout en améliorant votre que française (notamment en rite et expression orale).  Is surtout sur des articles de presse nes, médias électroniques) qui l'avance pour vous permettre de les active en classe est attendue des régulière est nécessaire.	compte l'actuali participants. Exemples de the l'école en France vie, le cinéma, l	té immédiat èmes étudiés e, les vacanc a chanson, la ationales, le	variés, en prenant aussi en e, et les demandes des s: la famille en France, es, le travail, les modes de a politique intérieure, les Japon vu de France, émoire
テキスト、参考文献		評価方法		
Les documents uti	les seront distribués en classe.		gulière au co	de deux éléments : la ours (2/3 de la note), et un 1/3 de la note).

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	J. スティベ	シソン
講義目的、講義概要	5 5	授業計画			
as your speaking a techniques that go you will practice u week. You will also your own to impro  Reflection is an im to writing your coreach week, you wild discussions and prare doing well and  To get a good grad class regularly and	as on building your confidence as well ability. We will think about the od speakers and listeners use, and sing some of those techniques each olearn ways that you can practice on we your speaking ability.  I portant part of this class. In addition numents about the lesson in a journal all also watch videos of your esentations and think about what you what areas you could improve in.  The in this class, you need to come to a journal each week, and to complete	<ol> <li>Techniques</li> <li>Techniques</li> <li>Techniques</li> <li>Video 1</li> <li>Video 1</li> <li>Techniques</li> <li>Techniques</li> </ol>		introduction kers 1 kers 2 kers 4 ners 1 ners 2 ners 3	Project 1 Project 2 Project 3 Project 4 Project 5 Project 6
テキスト、参考文献		評価方法			
The textbook will	pe announced in the first lesson.	Attendance 24%	6 Class par	system may chan ticipation 12% nal 24% Presenta	

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	J. スティ	ベンソン	
講義目的、講義概要		授業	計画			
as your speaking a especially on discuparticipate in a disalso how to lead a Reflection is also a addition to writing journal each week, discussions and prare doing well and To get a good grade class regularly and	as on building your confidence as well bility. In this semester, we will focus sion skills. You will learn how to cussion as a speaker and listener, and discussion.  In important part of this class. In a your comments about the lesson in a you will also watch videos of your esentations and think about what you what areas you could improve in.  The in this class, you need to come to be active in class. You also need to a journal each week, and to complete	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11.	Introduction Expressing Asking for Being a good Discussion	on and course opinions opinions od listener I  dod listener 2 scussions 1 scussions 2 practice practice	e may change.	Project 1 Project 2 Project 3 Project 4 Project 5 Project 6
テキスト、参考文献			ī方法			
The textbook will l	oe announced in the first lesson.	This is a guide. The grading system may change. Attendance 24% Class participation 12% Projects 24% Reflection journal 24% Presentations16%				

 02 年度以前
 英語Ⅲ
 担当者
 佐々木 恵理

### 講義目的、講義概要

この授業ではさまざまな社会問題について学びながら、「何を感じ、考え、それを自分のことばでどう表現するか」に重点を置きたいと思います。どのようにすれば問題を解決できるのかについて、自分の意見をもてるようになることが最終的な目標です。もちろん英語の授業なので、語彙を増やし、文法の確認をしながら読解力をつけてゆきます。

毎回テキストを精読し、適宜、練習問題を解いてゆきます。春学期でテキストの前半6項目(授業計画に各項目の仮訳をつけてみたので参照のこと)を読み終える予定です。テーマごとに具体的な説明を加え、新聞記事を読んだりビデオを見たりして理解を深めたいと思います。受講人数にもよりますが、発表や小レポートも考えています。

### 授業計画

- 1 初回のガイダンス
  - Chapter 1: Peeping on the Royal Family (イギリスの王室を覗き見する)
- 2 Exercise
- 3 Chapter 2: America's Gun Culture (アメリカの銃社会)
- 4 Exercise
- 5 Chapter 3: Sexual Harassment

(セクシュアル・ハラスメント)

- 6 Exercise
- 7 Chapter 4: Magic's Fight Against AIDS

(エイズと闘うマジック・ジョンソン)

- 8 Exercise
- 9 Chapter 5: Racism and Rodney King

(人種差別とロドニー・キング事件)

- 10 Exercise
- 11 Chapter 6: Murder or Mercy Killing?

(殺人、それとも安楽死?)

12 Exercise

### テキスト、参考文献

Freedom, Rights and Responsibility
Norma Reveler、根間弘海著(金星堂)

#### 評価方法

試験、平常点(発表など)、および出席による。ただし、 総授業数の3分の1を欠席すると自動的にFの評価とな る。遅刻は30分しか認めないのですぐに申し出ること。

02 年度以前

英語Ⅲ

担当者

佐々木 恵理

### 講義目的、講義概要

この授業ではさまざまな社会問題について学びながら、「何を感じ、考え、それを自分のことばでどう表現するか」に重点を置きたいと思います。どのようにすれば問題を解決できるのかについて、自分の意見をもてるようになることが最終的な目標です。もちろん英語の授業なので、語彙を増やし、文法の確認をしながら読解力をつけてゆきます。

毎回テキストを精読し、適宜、練習問題を解いてゆきます。秋学期でテキストの後半6項目(授業計画に各項目の仮訳をつけてみたので参照のこと)を読み終える予定です。テーマごとに具体的な説明を加え、新聞記事を読んだりビデオを見たりして理解を深めたいと思います。受講人数にもよりますが、発表や小レポートも考えています。

### 授業計画

- 1 初回のガイダンス
  - Chapter 7: Dealing Drugs

(麻薬取引)

- 2 Exercise
- 3 Chapter 8: Steroids in Sports

(スポーツ界のステロイド使用)

- 4 Exercise
- 5 Chapter 9 : Violence on Television

(テレビの中の暴力シーン)

- 6 Exercise
- 7 Chapter 10: The Abortion Debate

(中絶問題)

- 8 Exercise
- 9 Chapter 11: Greenpeace Protests

(グリーンピースの抗議行動)

- 10 Exercise
- 11 Chapter 12: A Fight for Human Rights

(人権獲得への闘い)

12 Exercise

### テキスト、参考文献

Freedom, Rights and Responsibility Norma Reveler、根間弘海著(金星堂)

### 評価方法

試験、平常点(発表など)、および出席による。ただし、 総授業数の3分の1を欠席すると自動的にFの評価とな る。遅刻は30分しか認めないのですぐに申し出ること。

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	D. ブラドリー
講義目的、講義概要  This course aims to improve the listening and speaking abilities of intermediate level students of English.  We will do a selection of listening exercises and fluency practice activities. The level will be that of general EFL textbooks at the intermediate level. The listening exercises consist of short interviews, public announcements, conversations and other recordings of people speaking naturally. In the fluency activities students exchange information, describe their experiences and participate in discussions. The weekly topics list a range of topics commonly handled at this		授業計画  1 Introduction to the course 2 Consolidation activities 3 Consolidation activities 4 Work - talking about jobs and careers 5 Homes - location inside the house 6 Directions- giving directions and using maps 7 Past (1) - talking about people's histories 8 Travel - making travel arrangements 9 Introduction to the UK 10 London 11 Comparing countries 12 Review		
テキスト、参考文献 There will be no te necessary.	武 extbook. I will distribute handouts as	評価方法  S Grades will be based on attendance (33%), cl participation (33%) and the presentations (33%). particular, good attendance is a prerequisite for a figrade.		ne presentations (33%). In

02 年度以前	02 年度以前 英語Ⅲ		担当者	D. ブラドリー
講義目的、講義概要	<b>E</b>	授業計画		
begun in the sprin approach and style	will be a continuation of the course g. We will proceed with the same e of lesson. The same conditions for intations will apply.		situations — situations — situations — son carison — s — listening — giving opin	ions
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法		
There will be no to necessary.	extbook. I will distribute handouts as	participation (3	33%) and tl	n attendance (33%), class ne presentations (33%). In is a prerequisite for a final

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	C. カーペンター
講義目的、講義概要		授業計画		
their listening skills discussions in Engl topics. Discussion and out of class. pairs and small gro interact with their c Students must be p classroom discussi support you in your	this class is to help students increase and their confidence and fluency in lish of common activities and everyday as will be based on listenings done in Class work will often include working in ups so students should be prepared to lassmates.  Orepared to actively participate in ons class. The teacher will guide and reading, listening, research, and udents will do most of the talking in this	be ar Week 12: Final	Various lister nounced.  Assessment plete and de he schedule	ning and discussion topics to t tailed schedule will be given is always subject to changes
テキスト、参考文献		評価方法		
The text and recomin class.	nmended references will be announced	homework, and t	ests. (※ A	re participation, quizzes, attendance is required. More mester and you cannot pass

02 年度以前	<b>英語Ⅲ</b>		担当者	C. カーペンター
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
	ond semester the students will record tions to be uploaded to the class	be ar Week 24: Final	Various listenounced.  Assessment plete and de he schedule	ening and discussion topics to
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
The text and recomin class.	mended references will be announced	homework, and t	ests. (※ A	re participation, quizzes, attendance is required. More mester and you cannot pass

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	T.Fotos
講義目的、講義概要	5	授業計画		
English students. The actual content and difficulty of the lessons will be decided after a level test and short interviews of the prospective students have been administered in the first couple of class meetings.		Weeks 2 –10 TI tha  Week 11 Las	rintroduction here will be v t will be annot t set of stude	ting , level test, and student as.  arious topics to be covered ounced during the course.  nt presentation and review.  interview for the term
students in addition to the usual requirements of actively participating in the small group discussions and doing one's assignments in a timely and careful manner.  Some video may be used to supplement the regular handouts and student-selected topics.				
time outside of cla attending the lesso enrolled in the cou	those in the course will devote some ss to practicing English. Just ons won't do the trick. Any seniors rse will have to do extra assignments pensate for absences due to ies.			
テキスト、参考文献	<b>t</b>	評価方法		
_	nned at this time. There will be dent—decided research topics that		entations are	sessment and advice to the important as well as doing

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	T. Fotos
講義目的、講義概要	5 7	授業計画		
Please refer to the	explanation for the spring semester.	pr   Weeks 2 - 10	esentation. Various topic appropriate l announced d ast student p	necessary. Last summer es will be studied with handouts that will be uring the semester. resentation and review. ne interviews
テキスト、参考文献	<del></del>	評価方法		
Refer to the spring	g semester.	Refer to the spr	ing semester	r.

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	佐藤、保
講義目的、講義概要	E 5	授業計画		
ない人にも容易に理 担当教員自身も文和 技術翻訳には 20 年 職希望者 (part-tim の相談には、大いに	P容のものを選んだので、技術に専門で 理解できます。 P系出身である(Master of Arts)が、 E以上の経験を持っており、実務翻訳就 ne、permanent job いづれの場合も) に応じたいと思っています(例えば、昼 P、時には課外(居酒屋、等)で)。	Exercise  WHY IS Exercise  WHAT M Exercise  THE SUR Exercise  HOW TO Exercise  Exercise  THE PUR Exercise  INDUSTR Exercise  BATTERY Exercise  BELL SY Exercise  THE OPE Exercise	TEMPERTURE  AKES AN AT  FACE OF TH  REMOVE SA  POSES OF T  IAL POLLUT  AND CURR  STEM	VA · · · · · · · · · · · · · · · · 22 · · · ·
テキスト、参考文献		評価方法		
科学技術英語の基礎 実務翻訳ガイド 200	陸(南雲堂) 06 年度版(アルク社)	(平常点)5点》 (定期試験) 1:	** **	

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	佐藤、保
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計画		
同上		1. ELECTRIC I Exercise · · · 2. TELEVISION Exercise · · · 3. ELECTRONI Exercise · · · 4. THE BRAIN Exercise · · 5. ROCKETS · Exercise · · 6. ORBIT OF A Exercise · · 7. IMP SATELL Exercise · · 8. AN ELECTR Exercise · · 9. MULTIDIRE Exercise · · 10. PLASTICS · Exercise · · 11. ARTIFICIAL Exercise · · 12. TENSILE S' Exercise · ·	FUNACE  - HOW THE  C COMPUTER  IN SPACE  A SATELLITE  A SATELLITE  CTIONALLY S'  FIBERS  TRENGTH	
テキスト、参考文献	<del>,</del>	評価方法		
同上		同上		

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	髙木	亜希子
講義目的、講義概要	要	授業計画			
え、英文をパラグラ 書くことに慣れるか アのまとめ方、下記 インティング能力を クラスメートの の完成を目指すとと 取り入れ、多様なを 皆さんの意見を想 題について伸び伸び	をするにあたり、英語の論理構造を踏ま ラフ単位で書く力を養成します。英文を ために身近な話題を題材とし、アイディ 書き、改訂、校正とステップを踏んでラ を身につけていきます。 下書きを読み合うことで、より良い英文 ともに、ペア活動やグループ活動を多く 見点を学びます。 受業になるべく取り入れ、興味のある話 がと英文を書いてもらうことで、楽しく 3力を身につけてほしいと考えます。	取り上げる題材が定です。  1. About me 2. Career consults 3. A dream come 4. Invent 5. It changed my 6. Exciting dest 7. Research inte 8. The power int 9. Personal goal 10. Architect 11. My role mod 12. Be a reporte	ltant e true y life ination erview terview s	皆さんと相談	して決定する予
テキスト、参考文献	<b>就</b>	評価方法			
「Writing from Wi (Cambridge Uni		出席、授業態度、	ライティン	グ課題、Journ	al で総合評価。

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	髙木	亜希子
講義目的、講義概要	τ ζ	授業計画			
春学期で学習した英文による自己表現能力を発展させ、様々な形で自分の意見を発信することで、他者と積極的にコミュニケーションする能力を育成します。 コンピューターを活用し、実生活に役立つスキルを身につけながら、クラスメイトのみならず、世界の人々と英語でコミュニケーションを行います。また、書いた意見を人に伝えるために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションをしたり、英文ホームページの作成を行います。		下記の項目を取り上げる予定ですが、具体的な内容や進度については、受講生の皆さんと相談して決定します。  1. 英文メールの書き方 2. チャット 3. メーリングリスト 3. グリーティングカード 4. E-pal 交流 5. PowerPoint を用いたプレゼンテーション 6. 英文ホームページ作成			
テキスト、参考文献		評価方法	am Het	7	***
適宜プリントを配布	ī.	出席、授業態度、	課題、Jour	mal で総合評値	Щ.

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	大田原	眞澄
講義目的、講義概要	Ę	授業計画			
edition から、日本も英語の文章もされていきます。でき題を決めていきたいてください。政治経科学など現代世界しろさを味わえたり下記サイト参照	こで読める Newsweek の international なの学生にも興味の持てる、そして内容ほど難しくない最新の記事を選んで読されば受講生の関心を考慮して毎週の課いと思いますので、積極的に要望を出し込済だけでなく、スポーツ・芸術・健康・の新鮮なニュースに英語で接するおもらと願っています。 .msn.com/id/3037881/site/newsweek/	最初に"The New を読みます。その 進めます		-	
テキスト、参考文献	<b>†</b>	評価方法			
		定期試験と出席、	小テストで	評価	

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	大田原 眞澄
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
edition から、日本も英語の文章もされていきます。でき題を決めていきたいてください。政治経科学など現代世界しろさを味わえたら下記サイト参照	で読める Newsweek の international なの学生にも興味の持てる、そして内容ほど難しくない最新の記事を選んで読まれば受講生の関心を考慮して毎週の課いと思いますので、積極的に要望を出しな済だけでなく、スポーツ・芸術・健康・の新鮮なニュースに英語で接するおもちと願っています。 .msn.com/id/3037881/site/newsweek/	2~3 週間に1記事のペースで 答 売 果		読み進めます。
テキスト、参考文献	<b>X</b>	評価方法		
		定期試験と出席、	小テストで	評価。

02 年度以前	英語Ⅲ	英語Ⅲ		堀 いづみ
いて、自分の考える 的です。 そこで、授業では ①テーマに沿って近 作文でよく使用され	を認めな授業です。身の回りの事柄につい適切に表現できるようになることが目は、次の2つのことを中心に行います。適した表現方法を身につけること。②英いる構文を知ること。(この構文は、次かとして出されます。)	授業計画  1. 英作文の構造 2~11. テーマル 12. まとめ		練習及び小テスト
テキスト、参考文献 Write What You M		<b>評価方法</b> 授業参加度、小	テスト、学期	末試験によります。

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	堀 いづみ
いて、自分の考える 的です。 そこで、授業では ①テーマに沿って遊 作文でよく使用され	は、次の2つのことを中心に行います。 適切に表現できるようになることが目 は、次の2つのことを中心に行います。 適した表現方法を身につけること。②英 れる構文を知ること。(この構文は、次 、として出されます。)		に沿った文の	練習及び小テスト
テキスト、参考文南 Write What You M		<b>評価方法</b> 授業参加度、小	テスト、学期	末試験によります。

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	M. ウーラートン		
講義目的、講義概要	要	授業計画				
The aim of this course is to develop students speaking skills and improve their listening. This class is for lower intermediate level students.  For each topic, students will watch 4 short video conversations on DVD and answer listening questions as well as doing a lot of speaking practice. Students will study the useful language for each topic and then develop their own conversations. All of the situations and skills will be useful for students realistic communication needs. The situations are an equal mixture of social, school and business situations. Students will hear English spoken by people from several different countries with many different accents. There will also be a game-based speaking activity for each topic.  Students will work with a partner, in small groups or with the whole class.  There will be a web site for students to use to do extra work in their own time.		Week 1 – Introduction to the course & student level check Week 2 – Unit 1. Introductions (formal and casual) Week 3 – Unit 1. Introductions (formal and casual) Week 4 – Unit 2. Starting conversations Week 5 – Unit 2. Starting conversations Week 6 – Unit 3. Keeping a conversation going Week 7 – Unit 3. Keeping a conversation going Week 8 – Unit 4. Suggestions and invitations Week 9 – Unit 4. Suggestions and invitations Week 10 – Unit 4. Suggestions and invitations Week 11 – Review Unit 1. Review Week 12 - Review Unit 1. Review				
テキスト、参考文献		評価方法				
	Woollerton (2006) The English Course, English Company.	Students will be class work – 409		attendance – 30% (30%); work – 30%.		

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	M. ウーラートン
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計画		
講義目的、講義概要 This course is a continuation from Semester 1. The aim of this course is to develop students speaking skills and improve their listening. This class is for lower intermediate level students.  For each topic, students will watch 4 short video conversations on DVD and answer listening questions as well as doing a lot of speaking practice. Students will study the useful language for each topic and then develop their own conversations. All of the situations and skills will be useful for students realistic communication needs. The situations are an equal mixture of social, school and business situations. Students will hear English spoken by people from several different countries with many different accents. There will also be a game-based speaking activity for each topic.  Students will work with a partner, in small groups or with the whole class. There will be a web site for students to use to do extra work in their own time.		Week 3 – Unit 5 Week 4 – Unit 5 Week 5 – Unit 6 Week 6 – Unit 6 Week 7 – Unit 7 Week 8 – Unit 7 Week 9 – Unit 8	5. Likes & die 5. Likes & die 6. Likes & die 6. Making & 7. Giving & r 7. Giving & r 8. Asking for, 8. Asking for,	slikes; emotions & feelings slikes; emotions & feelings slikes; emotions & feelings responding to requests responding to requests esponding to opinions esponding to opinions giving & listening to advice r, giving & listening to
テキスト、参考文献		評価方法		
	Woollerton (2006) <i>The English Course</i> , English Company.	Students will be class work – 409		attendance – 30% (30%); work – 30%.

02 年度以前	英語Ⅲ			担当者	松岡 昇
講義目的、講義概要	H.	授業計画			
練習を行う。  2) 従って、書いたも  3) このため、書く、 ション(発表) (4) 授業はプロジェクで行い、コースを む予定。	を目的としたライティングののは必ずクラスで発表する。ことに加えて、プレゼンテーの技術も並行して学習する。クト形式(個人とグループ)を通して3つの課題に取り組できるよう、授業はコンピュ	9. Project 3: Why l	構成と方法 Not Marry Not Marry Casting Casting Casting Not Take (	* / PowerPoint Me? (個人: Me? (個人: (グループ:準 (グループ:準 (グループ:発 Our Summer Pl: Our Summer Pl:	準備) 発表) 備) 備)
テキスト、参考文献	<b>t</b>	評価方法			
プリントを配布		プレゼンテーション	⁄ (3 回)	で評価	

02 年度以前 英語Ⅲ		担当者	松岡 昇
講義目的、講義概要	授業計画		
<ul> <li>本コースは、</li> <li>1) English 121-a Composition の講義目的を引き継ぎ、</li> <li>2) それをさらに応用、発展させるものである。</li> <li>3) コースを通して2つの課題に取り組む予定である。</li> <li>4) また、並行して、個人が英文ブログを作り、 英語を書くことを日常化していくと同時に、 WEB上の国際交流を行う。</li> </ul>	3. Project 4: How Do Foreig. 4. Project 4: How Do Foreig. 5. Project 4: How Do Foreig. 6. Project 4: How Do Foreig. 7. Project 4: How Do Foreig. 8. Project 5: My Future Plan. 9. Project 5: My Future Plan.	ners See Japar ners See Japar ners See Japar ners See Japar ners See Japar ners See Japar n (個人:準備)	1? (グループ:発表)
nbmatsuoka@ybb. ne. jp  テキスト、参考文献  プリントを配布	10. Project 5: My Future Plan 11. Project 5: My Future Plan 12. Review 評価方法 プレゼンテーション(2回)	n(個人:発表)	

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	石月 正伸
講義目的、講義概要	<b>문</b>	授業計画		
この授業は、英語の必要不可欠な文法事項を再確認する 必要性を感じている、TOEIC のスコアが、400~500 の学 生を対象としています。		行います。		指導や課題作文の評価などを
授業では主として次の2つのことをします ①「文法の復習とともに、1センテンスレベルの英文が確実に書けるように配慮した」テキストを用いて、文法事項の再確認と、英文の構造を理解しながらセンテンスを組み立てる(書く)練習をします。英文は、どれも BASIC なものばかりです。 ②テキストと平行して、(日本語文を含む)課題作文を書く練習(提出+添削+書き直し)を数回します。その際、センテンス自体の良し悪しよりも、内容の良し悪しに重点をおく、英語の表現力不足を内容で補うという書き方を前提とします。また、レポートには、レポート点の対象になるものとならないものがありますが、レポートのできの良し悪しが、評価に直接反映されることはありませんので心配無用です。あくまでも練習です。		2 第1章 3 作文指導(+プリント) 4 第2章 5 第3章 6 第4章 7 第5章 8 第1回テスト(範囲:1~4)+作文指導 9 第6章 10 第7章 11 第8章		
詳しくは、ガイダン テキスト、参考文献		評価方法		
山内・赤楚・北林春 章』、英宝社	<b>著『</b> 文法から攻める英作文のための15	評価に対応	する欠席限度	<b>点 + 授業時のテスト</b> 回数を次の通りとします: :3回 C:4回

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	石月 正伸
講義目的、講義概要		授業計画		
講義目的、講義概要 授業方針は春学期と同じです。テキストは春学期の続きです。課題作文に関しては、春学期の内容を踏まえ、更にそれを発展させることを目指します		行います。 以下の内容は、 生ずる可能性がる 1 ガイダンス 2 第9章 3 作文指章 4 第10章 5 第11章 6 第12章 7 第13章	大まかな進行 あります。 +プリント) ト (範囲: 9 +プリント)	予定です。進行状況にズレが 〜12)+作文指導
テキスト、参考文献 山内・赤楚・北林著 章』、英宝社	: 『文法から攻める英作文のための15			<b>点 + 授業時のテスト</b> 回数を次の通りとします:

02 年度以前	英語Ⅲ	<b>≒語Ⅲ</b>		M. フッド
講義目的、講義概要	,	授業計画		
Communicate in Ecultural, political, Express their own Engage other studtopics. This course is desivocabulary, listeniusing English in a ATTENDANCE aryour success in thi	inglish about a variety of interesting and social topics; ideas about these topics; ents to elicit their ideas on these gned to develop students productive ng comprehension, and confidence in variety of situations.  Ind PARTICIPATION are crucial to s class. Students are expected to be and use ENGLISH ONLY for	which will be ch discussion. At se students will ma	osen by stud everal times ake presenta uent vocabu	a different topic, many of lents who will lead the throughout the term, tions on their topics. There lary quizzes and tasks to be
テキスト、参考文献	<b>†</b>	評価方法		
There are no textb available at mikeh	ooks for this class. Materials will be oodenglish.com			ased on participation, homework assignments.

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	M. フッド
講義目的、講義概要	5 C	授業計画		
the skills learned in At the end of this to Conduct library re Support their own	continue practicing and developing in the first term  term, students will be able to:  search independently;  ideas in spoken English s effectively to their classmates.	which will be ch discussion. At se students will ma	osen by stud everal times ake presenta uent vocabu	a different topic, many of lents who will lead the throughout the term, itions on their topics. There lary quizzes and tasks to be
テキスト、参考文献		評価方法		
There are no textb available at mikeh	ooks for this class. Materials will be oodenglish.com			ased on participation, homework assignments.

02 年度以前	英語Ⅲ		担当者	笠原	誠也
テーマに沿って構 ストを使用する。 相 に長じていなくて ことと思う。 基本	を文法上のテーマが決まっており、その文を作成してもらうという趣向のテキ構文は概して平易であるため、英作に特も作業に特に支障を来たすことはない英文法の確認を頻繁に行いつつ英作の作 死習文法の復習も兼ねることができる。	授業計画1.動詞2.形容詞・副3.助動詞 (2)5.助動詞 (3)6.How7.What8.主語 it9.主語 I10.主義復習12.まとめ			
テキスト、参考文献 小中秀彦編著『話す	<b>吠</b> けための英語構文 139』 青踏社	評価方法 出席、小テスト、	、試験による		

02 年度以前	英語Ⅲ	英語Ⅲ		笠原	誠也
テーマに沿って構 ストを使用する。 株 に長じていなくて ことと思う。基本も	文法上のテーマが決まっており、その文を作成してもらうという趣向のテキ構文は概して平易であるため、英作に特も作業に特に支障を来たすことはない英文法の確認を頻繁に行いつつ英作の作 死習文法の復習も兼ねることができる。	授業計画1. 動詞・副詞2. To 不記3. 動名詞4. 分否記詞6. 冠鏡詞7. 接副司8. 副前置10. If11. 総と12. まとめ	動詞の原型		
テキスト、参考文献 小中秀彦編著『話で	t けための英語構文 139』 青踏社	評価方法 出席、小テスト、	、試験による		

02 年度以前 (春学期完結)	英語Ⅲ(CAEL)	語Ⅲ (CAEL)		J. スティベンソン
講義目的、講義概要	5	授業計画		
requires a lot of structures and register.  In addition to work on your own, your or on your own, your or lot of structures and sure of lot of structures and sure of lot of structures a lot of structu	nkGE_hp/index2.htm> vrsion of ぎゅっと E at: n.jp/gyuto-e/trial-h/start.do> ame (guest) and password (demo). the instructor at jodie@dokkyo.ac.jp if	detailed informa  Week:  1. Course outlin	e and introd study plan, s ly ly dl study ly, self-evalu ly ly ly	start personal study ation 1
テキスト、参考文献	<b>#</b>	評価方法		
	buy a textbook for this class; however, e the Gyu-to E program.	information dur Self - introduction	ing the first on 10% Q	ange. You will receive more week of the semester. uizzes 30% 30% Self-evaluations 10%

02 年度以前 (秋学期完結)	英語Ⅲ(CAEL)		担当者	J. スティベンソン
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計画		
requires a lot of stream requires a lot of st	nkGE_hp/index2.htm> o version of ぎゅっと E at: n.jp/gyuto-e/trial-h/start.do> ame (guest) and password (demo). the instructor at jodie@dokkyo.ac.jp if	ively using a is class ine, only their English  E E program g:     classmates plan; veek in a  Idd find out  Idd find out  Ively using a detailed inform detailed inform week:  1. Course outling: 2. Submit your 3. Personal stu 4. Personal stu 5. Quiz, person 6. Personal stu 7. Personal stu 8. Personal stu 9. Personal stu 10. Personal stu 11. Quiz, perso 12. Personal st  It: Ido> Idd (demo).		start personal study ation 1
テキスト、参考文献		評価方法		
	buy a textbook for this class; however, e the Gyu-to E program.	information dur Self - introducti	ring the first on 10% Q	ange. You will receive more week of the semester. uizzes 30% Self-evaluations 10%

# 2006年度

# 外国語学部共通科目シラバス

(2003年度以降入学生用)

【2002年度以前入学生用】の外国語学部共通科目は 『全学共通授業科目シラバス』に掲載しています

### 学則別表 (2003年度以降入学者)

科目群	T 11 1	11/11
17 147	<u> </u>	単位
	総合講座	2
	情報科学概論a	2
	情報科学概論b	2
外国語学部共通科目	情報科学各論	2
	経済原論a	2
	経済原論b	2
	社会心理学a	2
	社会心理学b	2

〇 本表は、2003年度入学者から適用する。

# 外国語学部共通科目 (2003年度以降入学生用)

### ※ほとんどの科目はオンライン抽選が行われます。 各学科の「授業時間割表」で抽選方法や定員などを確認してください。

# 目次

時間割コード	科目名	į	担当	教員	開講期	曜時	単位数	開始 学年	履修 不可	ページ
07690	総合講座	Ī	青山	愛香	春	水3	2	1	経·法	1
07691	総合講座	7	木村	佐千子	秋	水3	2	1	経∙法	1
00220	情報科学概論a	Ä	呉 浩	東	春	金1	2	1	経∙法	2
00221	情報科学概論b		呉 浩		秋	金1	2	1	経・法	2
	情報科学各論(入門)	í		当教員			2	1	経·法	3
00138		_		等	春	月1				
00058		-	金子	憲一	春	月4				
00068		-	金子	憲一	春	月5				
00074		+	田中	雅英	春	火1				
00093		+	田中	雅英	春	火2				
00208		<u> </u>	为田	俊郎	春	木4				
00253		_		恵美子	春	金2				
	情報科学各論(初級—表計算入門)			当教員			2	1	経·法	4
00044			金子	憲一	春	月3				
00109			田中	雅英	春	火3				
09040			二宮	哲	春	水1				
00184		_	为田	俊郎	春	木2				
00255			公山	恵美子	春	金3				
00141			長崎	等	秋	月1				
00070			金子	憲一	秋	月5				
00076			田中	雅英	秋	火1				
00019			呉 浩		秋	水2				
00193		_	为田	俊郎	秋	木2				
09037			为田	俊郎	秋	木3				
00231		_		恵美子	秋	金2				
00201	情報科学各論(初級―プレゼンテーション)			満	春	火2	2	1	経•法	5
00202	情報科学各論(初級―プレゼンテーション)		金井	満	秋	火2	2	1	経∙法	5
	情報科学各論(初級—HTML入門)			当教員			2	1	経·法	6
00021		_	呉 浩		春	水2				
00195				俊郎	春	木3				
00060			金子	憲一	秋	月4				
00096		_	田中	雅英	秋	火2				
00131			二宮	哲	秋	水1				
00210			<u>为田</u>	俊郎	秋	木4				
00239	情報科学各論(中級—表計算応用1)			恵美子	秋	金3	2	1	経•法	7
09305	情報科学各論(中級—表計算応用1)			恵美子	春	金4	2	1	経・法	7
09308	情報科学各論(中級—表計算応用2)			恵美子	秋	金4	2	1	経·法	8
00048	情報科学各論(中級—HTML応用1)			憲一	秋	月3	2	1		9
00111	情報科学各論(中級—HTML応用1)			雅英	秋	火3	2	1		10
00156	情報科学各論(中級―データベース1)		長崎		春	月2	2	1		11
00158	情報科学各論(中級―データベース2)	_	長崎		秋	月2	2	1		11
00172	情報科学各論(中級―プログラミング論1)		具 浩		春	月2	2	2	言	12
00191	情報科学各論(中級―プログラミング論2)		具 浩		<u>秋</u>	月2	2	2	言	12
00087	経済原論a			容康	春	火1	2	1	経・法	13
00088	経済原論b				<u>秋</u>	<u>火1</u>	2	1	経·法	13
00055	社会心理学a			雅徳	春	火4	2	1		14
00056	社会心理学b			雅徳	秋	火4	2	1		14

03 年度以降	総合講座			担当者	青山 愛香 (コーディネータ)
講義目的、講義概要	- 	授業	計画		
にアジアを代表する 術について考察しま	と藝術」と題して、ヨーロッパならび る都市と、その都市を中心に展開した藝 ます。 、ニバス形式で、幅広い時代の芸術作品	2 3 4 5 6 7 8 9 10	青山愛香 「ご 調子 ( -	ニュルンペル 一橋大学名教授 本学京藝ガー マウス学名市立 大大 トンカー ドラン ドランカー ドランカー ドランカー ドランカー ドラン ドラン ドラン ドラン ドラン ドラン ドラン ドラン ドラン ドラン	教授)「ウィーン①」 )「ウィーン②」 学非常勤講師)「ローマ」 (本学助教授)「ドレスデン①」 「ミュンヘン①」 「陶磁美術館)「東アジアの都 対授)「ドナウ河流域の都市」
テキスト、参考文献 授業中に指示する。	#	評価	方法	こより日程に 常点を加味し	変更がある場合があります

03 年度以降	総合講座		担当者	木村 佐千子 (コーディネータ)
講義目的、講義概要	£	授業計画		
この総合講座では、その総点をという。 このに無点には、ますのという。 これが、、まずには、はがいかが中心などでで、でいたが、などでで、でいたが、でいる。 でいる は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ロッパの都市や地域と音楽ーは、各回に1つのヨーロッパの都市や地 この都市や地域の概容を知っていただく こまつわる音楽に親しんでいただきたい ユニバス形式で行われます。各回の担当 場下や地域とその地にまつわる音楽につ 最音資料、生演奏を用いて、なるべく分 します。担当者の専門によって、都市論 文学や民俗に重点が置かれたり、音楽 こお話ししたり、変化に富む講義内容と により、受講者のみなさんの視野が広 にす。 ご音楽をお聴かせしますので、絶対に静 い。私語等で他の受講者の迷惑となる学 ですることがあります。もちろん、質問 です。積極的な参加を期待します。	2 ヴァコー マー	奏の施「学」学べ語学ドシ「名教クロ施ロ は者ですがすり 科別の 大きな ではない 大本イ予一教 授ン非授とマイ授 間シ化予ン 、大学才定ン授 リ常 ハンン 田ア」定 担盟 動下ン没 角乳にお なず という は 動下ン没 角乳にお かず かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	ゲルク 後 150 年に寄せて」 注一朗 「ライプツィヒ」 た らける西洋音楽の導入と、 話とピアノ演奏)
テキスト、参考文献 参考文献は授業中に		<b>評価方法</b> 学期末試験の結果 わりに意見・感		加味した総合評価。各回の終らいます。

03年度以降 情報科学概論 a 担当者 呉 浩東

### 講義目的、講義概要

高度化情報社会に生きる個人として、情報とそのシステ ムに関する基本的な素養を修得することは、必要不可欠に なっている。単にコンピュータの操作技術を習熟するとい うことではなく、その基礎となる原理を理解することによ り、情報やそのシステムをより有用な道具として使いこな す能力を身に付けることができる。これは、情報が多大で 多様な価値をもつ情報社会に生きる個人としてもっとも 重要な能力である。

本講義では、(1)情報に関する基本的な概念、(2)コ ミュニケーションにおける情報とその処理に関する基礎 的な素養、(3)情報システムに関する基礎的な素養、(4) 情報社会に関する基礎的な理解などを修得の目標とする。

本講義はまず、人間とコンピュータとの関わり、情報と コンピュータシステムの関係を概説し、コンピュータのハ ードウェアとソフトウェア、コンピュータの動作概要など を解説する。次に、情報の符号化、コンピュータ内のデー タ表現、プログラム構造、アルゴリズムについて学ぶ。

#### 授業計画

- 講義の概要と目標 1
- 2 情報とは何か

情報の性質、情報の形態、情報の発達

- 3 コンピュータの歴史と特徴 計算機械の変遷とコンピュータの世代論
- 数の体系と基数変換
  - 2進数と16進数、基数変換、2進数の演算
- 5 コンピュータの論理回路とデータ表現
- 6 コンピュータの構成要素(1) 中央処理装置 (CPU) とメインメモリ
- 7 コンピュータの構成要素(2) 2次記憶装置と周辺措置
- 8 コンピュータ・ソフトウェアの概略 ソフトウェアの役割、体系と種類
- 9 オペレーティングシステム (OS) OSの基礎概念、OSの役割と原理
- 10 コンピュータ言語 コンピュータ言語の分類と目的
- 11 基本データ構造 配列構造、木構造、リスト構造、スタック構造
- 12 アルゴリズム

### テキスト、参考文献

山田啓一 『情報科学』 西日本法規出版

評価方法

レポート、出席状況と筆記試験の結果を併せて評価する。

03年度以降 担当者 呉 浩東 情報科学概論 b

### 講義目的、講義概要

高度化情報社会に生きる個人として、情報とそのシステ ムに関する基本的な素養を修得することは、必要不可欠に なっている。単にコンピュータの操作技術を習熟するとい うことではなく、その基礎となる原理を理解することによ り、情報やそのシステムをより有用な道具として使いこな す能力を身に付けることができる。これは、情報が多大で 多様な価値をもつ情報社会に生きる個人としてもっとも 重要な能力である。

本講義では、(1)情報に関する基本的な概念、(2)コ ミュニケーションにおける情報とその処理に関する基礎 的な素養、(3)情報システムに関する基礎的な素養、(4) 情報社会に関する基礎的な理解などを修得の目標とする。

本講義では、近年急速に発展しているインターネット、 データ通信、データベース技術などに重点を置き、コンピ ュータ活用技術に関するさまざまな知識を概説し、数回の 演習も実施する。

### 授業計画

- 1 ファイルの構造 ファイルの種類と構造
- 2 データベース データベースの概要、データベースの種類
- 3 データベース管理システム (DBMS) DBMS の目的と構成
- 4 データベースの設計

6 インターネット

- データベース構築の手順、データの正規化
- 5 コンピュータ・ネットワーク ネットワークの種類、LAN の構成とアクセス方式
- インターネットの仕組み、通信規約 TCP/IP、DNS
- 7 インターネットサービス
  - World Wide Web、情報検索、電子メールなど
- 8 インターネットと社会 セキュリティ、暗号システム、電子認証
- 9 マルチメディアの利用 画像処理、音声処理、応用システム
- 10 情報検索
  - 情報検索の方法と演習
- 11 言語処理における情報技術(演習)
- 12 ソフトウェア開発手順 システム分析と設計、プログラム開発と保守

### テキスト、参考文献

山田啓一 『情報科学』 西日本法規出版 随時必要な資料を指示する。

### 評価方法

レポート、出席状況と筆記試験の結果を併せて評価する。

03年度以降	情報科学各論(入門)	門)			各担当教員
講義目的、講義概要		授業	計画		
し、「効率的かつ効コンピュータである	限の中から「自らに必要なもの」を探し出 果的」に活用する場合の中心となるのは る。この科目では、コンピュータの基本 プリケーションソフトの利用、およびコ	1 2			ュータの基本操作フィンドウ操作とアプリケ
ンピュータネット5 生活(広くは社会生	7ークについて学んでいく。とくに大学 活)で実際に必要で、かつ役に立つコン	3 4		カとタイピン ネット <i>─</i> ブラ	/グ ラ ウザ・メール・検索
コンピュータ初心	習得することを目的とする。 公者を対象に、1人で1台のパーソナル い、主として実習を中心として授業を進	5 6	情報倫理 ワードプロ	コセッサとに	‡
ネットワーク(通信	x語および英文ワープロ、コンピュータ )、情報倫理についてである。	7 8	文書の作成 文書の作成		
	た授業なので、欠席や遅刻は厳禁とす ました場合には、必ず自習して遅れを取	9	文書の作品文書への記	成(3) 画像の挿入	
り戻すこと。 情報科学各論(れ	刃級・中級)科目群のいずれかをすで	10	レポートの総合演習		
に履修ずみの場合	)は、本科目を履修してはならない。 -		方法		

席は重視する。

『学生のためのコンピュータ活用 I 』

授業中に指示する課題の作成と平常点で総合評価する。出

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

03 年度以降	情報科学各論(初級-表計算入門)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	<b>E</b>	授業	計画		
学各部(入門)」「ある社会では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	表計算ソフト(MS・Excel)の基本操データ・文字データの処理方法およネットワークを利用した情報の収集を理・加工の方法を学習する。さらまとめ効果的に発表する手段を習得した授業なので、欠席や遅刻は厳禁导ず欠席した場合には、必ず自習し	2 3 4 5 6 7 8 9	表 表 表 ま ま れ に に に に に に に に に れ に の の の の の の の の の の の の の	文字の入力) グラフの装 利用 ークからのラ 用(1) 用(2) 用(3) テーション WERPOIN テーション め)	データの収集・整理 (1) 一作成
テキスト、参考文献	<b>状</b>	評価	i方法		

る。出席は重視する。

授業中に指示する課題の作成と平常点で総合評価す

授業中に指示する課題の作成と平常点で総合評価す

『学生のためのコンピュータ活用Ⅱ』

『学生のためのコンピュータ活用Ⅱ』

<b>-</b>	1				ı
03 年度以降	情報科学各論(初級-表計算入門)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	要	授業	計画		
この (入目で (入目で (入目で (入目で (入目で (大日で	コンピュータ初心者向け授業「情報科コンピュータ入門」の直上に位置する。コンピュータについての基礎知習得した人たちが、その活用に向けために設けられている。社会生活に用法を学習し、より幅広いリテラシ目標とする。表計算ソフト(MS・Excel)の基本操データ・文字データの処理方法と収集を理・加工の方法を学習する。されまり、とり対した授業なので、欠席や遅刻は厳禁した授業なので、欠席や遅刻は厳禁得ず欠席した場合には、必ず自習し	1 2 3 4 5 6 7 8 9	ガスの 表の 第 本 数 数 数 か ゼ ズ 子 の の の の の の の の の の の の の の の の の で で まと る で か まと と と る で か まと と と と る で か まと と と と と と と と と と と と と と と と と と	文字の入力) グラフの物 利用 ークからのう 用(1) 用(2) 用(3) テーション WERPOIN テーション め)	データの収集・整理 (1) 一作成
テキスト、参考文献		評価	方法		

る。出席は重視する。

講義目的、講義概要         授業計画           入門」の直上に位置する初級科目です。コンピュータの基本操作を習得した人たちが、その活用に向けて、一歩踏み出すために設けられているものです。         2. Powerpoint の基本操作 1           講義概要:         3. Powerpoint の基本操作 2           この授業では、プレゼンテーション用ソフトウェアであるPowerpoint を使って文字情報だけではなく、画像・音声・動画など様々な方法で自分の持っている情報をわかりやすく相手に伝え、理解してもらうための手法を学びます。         6. プレゼンテーションの注意点 7. プレゼンテーションの連備 9. 個人プレゼンテーションの準備 9. 個人プレゼンテーション 0.0 個人プレゼンテーション 1.1 Max 1.1 Ma	03 年度以降 情報科学各論(初級-プレゼンテーショ	ヨン) 担当者 金井 満
	この授業は、コンピュータ初心者向け授業「コンピュータ 入門」の直上に位置する初級科目です。コンピュータの基 本操作を習得した人たちが、その活用に向けて、一歩踏み 出すために設けられているものです。 講義概要: この授業では、プレゼンテーション用ソフトウェアである Powerpoint を使って文字情報だけではなく、画像・音声・動画 など様々な方法で自分の持っている情報をわかりやすく相手に 伝え、理解してもらうための手法を学びます。 ソフト自体はワープロが使える人であればそれほど難し いものではないので、実際にプレゼンテーションを行う経	<ol> <li>ガイダンスとコンピュータの基本操作の復習</li> <li>Powerpoint の基本操作 1</li> <li>Powerpoint の基本操作 2</li> <li>Powerpoint の基本操作 3</li> <li>効果的なスライドとは</li> <li>プレゼンテーションの注意点</li> <li>プレゼンテーションの練習</li> <li>個人プレゼンテーションの準備</li> <li>個人プレゼンテーション</li> <li>個人プレゼンテーション</li> <li>個人プレゼンテーション</li> <li>個人プレゼンテーション</li> </ol>

授業内での個人プレゼンテーション。

授業で指示します。

03 年度以降	情報科学各論(初級ープレゼンテーショ	ョン)	担当者	金井 満
講義目的、講義概要	ī C	授業計画		
<ul> <li>入門」の直上に位置</li> <li>本操作を習得したが</li> <li>出すために設けられ</li> <li>講義概要:</li> <li>この授業では、プレ</li> <li>Powerpoint を使った</li> <li>など様々な方法で自伝え、理解してもらうた</li> <li>ソフト自体はワープ</li> </ul>	レゼンテーション用ソフトウェアである て文字情報だけではなく、画像・音声・動画 分の持っている情報をわかりやすく相手に とめの手法を学びます。 プロが使える人であればそれほど難し で、実際にプレゼンテーションを行う経	1. ガイダンス。 2. Powerpoint 3. Powerpoint 4. Powerpoint 5. 効果的なス。 6. プレゼンテー 7. 個人プレゼン 9. 個人プレゼン 10. 個人プレゼン 11. 個人プレゼン 12. 総括	の基本操作1 の基本操作2 の基本操作3 ライドとは ーションの ニーションの ション・ション ンテーション ンテーション	羽 自
テキスト、参考文献	*	評価方法	<b>プルギン</b> ニ	87.177
授業で指示します。		授業内での個人	ノレセンテー	ンヨン。

03 年度以降	情報科学各論(初級-HTML 入門)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	<del>E</del>	授業	計画		
この授業は、コン	ンピュータ初心者向け授業「情報科学各	1	ガイダンス	とコンピュー	-タの基本操作の復習
論(入門)」「コンピュータ入門」の直上に位置する初級科目		2 WWW > LAN			
である。コンピュー	- タについての基礎知識と基本操作を習	_	2.2		

評価方法

出席は重視する。

この授業は、コンピュータ初心者向け授業「情報科学各論(入門)」「コンピュータ入門」の直上に位置する初級科目である。コンピュータについての基礎知識と基本操作を習得した人たちが、その活用に向けて一歩踏み出すために設けられている。社会生活に必要な情報の活用法を学習し、より幅広いリテラシーを得ることを目標とする。

この授業では先ず、コンピュータとコンピュータネットワークの基本構成、ファイルの種類やフォルダの構造といったコンピュータに関する基礎知識を復習する。その上で、インターネットサービスの一つである WWW(World Wide Web)における情報の構成単位である「ページ」の構造と、それを記述する「HTML」(Hyper-Text Markup Language)を学ぶ。また、簡単な自分自身のホームページの試作もする。

### 注意

実習を中心とした授業なので、欠席や遅刻は厳禁とする。止むを得ず欠席した場合には、必ず自習して遅れを取り戻すこと。

7 ホームページの作成--テキスト

3 情報の単位と情報通信

4 ハイパーテキストと HTML

5 インターネットと情報倫理

6 ページの構造と HTML

- 8 ホームページの作成--イメージ
- 9 ホームページの作成--リンク
- 10 ホームページの作成--テーブル・その他
- 11 ホームページの作成―完成
- 12 ファイルの転送とページの更新

### テキスト、参考文献

テキスト、参考文献

『学生のためのコンピュータ活用Ⅱ』

『学生のためのコンピュータ活用Ⅱ』

### 評価方法

授業中に指示する課題の作成と平常点で総合評価する。 出席は重視する。

授業中に指示する課題の作成と平常点で総合評価する。

03 年度以降	情報科学各論(中級 -表計算応用1)			担当者	松山恵美子
た学生を対象として Excel の機能のでデータを処理する 定、コピーなど、同 合、その処理内容を クリックするだけて 簡単な「マクロ」 に作成される VBA	アフト (MS-Excel) の基礎をマスターして行うものとする。 ひとつに「マクロ」機能がある。Excel 3過程において、計算式、関数、書式設同じ一連の操作を繰り返す必要がある場合記録させることで、次回からボタンをで、即時に実行することが可能となる。を作成しながら、マクロ機能で自動的(Visual Basic for Application)プログけることを目標とする。	2	ディイダンスで マクロ機能で 関数と計算する 関数と計算する アクロ目課題 で で で で で の 利用 で で の 利用 で の 利用 に で り の 利用 に り の り の に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り に り	式を使ったママヤマを使ったママリア (A) (1) (2)	- クロの作成(1) クロの作成(2)
テキスト、参考文献 第1回目の授業で打	<u> </u>		<b>-</b>		再提出)、定期試験 50%で総合

03 年度以降	情報科学各論(中級 -表計算応用1)		担当者	松山恵美子
講義目的、講義概要	<del>.</del>	授業計画		
春学期と同様。		春学期と同様。		
テキスト、参考文献	<b>t</b>	評価方法		
春学期と同様。		春学期と同様。		

			担当者	
講義目的、講義概要		授業計画		
	4	==/= +>+		
テキスト、参考文献	Λ	評価方法		

03 年度以降	情報科学各論(中級一表計算応用2)		担当者	松山恵美子
取得した学生を対象 情報科学各論(ロ クロから、VBA(V 歩踏み込んで理解す 最終的には、情報	学各論(中級一表計算応用1)の単位を 使として行うものとする。 中級一表計算応用1)で学習した記録マ Visual Basic for Application)をもう一 けることを目的とする。 最科学各論(中級一表計算応用1)で作 ログラミングすることで、汎用性のある にいく。	授業計画1ガイダンス2VBA とは3プログロ回グロログロロググロ回ググロ目6第10007第20008第20009第200013最終課題作14最終課題作12最終課題作	(1) ングの技法( ングの技法( タンと成 題がの がの が が が が が が が が が が が が が が が が	1) 2) 3)
テキスト、参考文献 第1回目の授業で打		<b>評価方法</b> 平常点 50% (出 評価をおこなう)		種提出)、定期試験 50%で総合

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

03 年度以降(秋) 情報科学各論(中級-HTML 応用 1)		担当者	金子 憲一
講義目的、講義概要	授業計画		
講義の目的 この授業は、コンピュータ初級の授業「HTML 入門」の次に位置する中級科目である。コンピュータの基礎知識やネットワーク構成、及び「HTMLを用いたホームページ作成技術を習得した人(FTPの理解を含む)を対象」に、一方向の情報発信ではなく、インタラクティブなページ作成を通じて、コンピュータの深い理解とコミュニケーション技術を得ることを目標とする。 講義の概要 この授業ではまず、ファイルの種類、フォルダ構造などのコンピュータの基礎知識やネットワーク構成、及びHTML、FTP などの復習を行う。次に JavaScript や CGIプログラムを利用して、メッセージの表示や画像の変化、カウンタ、掲示板の設置等を行う。作成の成果は、受講生相互で批評・検討する。	5 JavaScript ( 6 JavaScript ( 7 JavaScript ( 8 JavaScript ( 9 CGI の利用 10 CGI の利用 11 CGI の利用 12 鑑賞・報告会	Pの復習(1 Pの復習(2 イブなペーシ (1) (2) (3) (4) (1) (2) (3)	1)
テキスト、参考文献 授業中に指示、紹介する。プリントの配布(Web 上	評価方法 授業中に作成する	ろ課題と平堂	点(課題の途中経過を含む)
も含む)も行う。	で総合評価する。	出席は重視	た。最低限のルールやマナ 合は、即時失格とする。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

03 年度以降	情報科学各論(中級-HTML 応用 1)		担当者	田中 雅英
級コースである。H 識を有する学生なく を目指すのではなく げる。もちろんり するのでは解をも ワークの理解を多。 マンタラクティブ ことにより,情報 たい。	中学各論(初級)「HTML入門」に続く中TML入門を受講済みあるいは同等の知时象に、単に HTML 言語の更なる発展は、CGI や JavaScript にまで範囲を広こホームページ作成ということを目標といの過程においてコンピュータやネットが、それの積極的な利用方法の理解にまな的には、一方向の情報発信ではなく、な双方向のコミニュケーションを図る型理としての広範囲な知識の整理を図り十画はあくまで一つの目安であり、途中	授業計画  1. ガイダンス。 2. Web ページ 3. プログラミ 4. JavaScript 5. JavaScript 6. JavaScript 7. JavaScript 8. CGI 9. 情報の収集 10. 情報の収集 11. 応用 12. その他	のネットへの シグの考え方 L 2 3 4	アップロード等
テキスト、参考文献 授業中に適宜指示す		<b>評価方法</b> 授業中に指示す。	る課題と平常	点で評価する。

03 年度以降	情報科学各論(中級ーデータベース 1)		担当者	長崎等
講義目的、講義概要	要	授業計画		
した学生を対象とける。 を学生を対象利用といる。 を選択を持ている。 を重いなが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	級一表計算入門) を既修, またはそれ があることが望ましい. 第1 回目の授業 こと. す. また実習を主体とする科目なので	1 ガチ計算2 表計算3 表計算4 並計6 レ条件7 条件9 デクロより10 ま習試験12 実習試験	(1) (2)及びデ 出 関数	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
テキスト、参考文献 1 回目の授業で持		評価方法	. 計画時	さらに実習試験によって記
I 凹目の技業でを	日小 しより・	価します.	一下硃趣,	<b>さりに夫百畝腴によつ(i</b>

03 年度以降	情報科学各論(中級ーデータベース2)		担当者	長崎 等
て、Access を利用 ついて学習する. Access の基本的な た後に, データベ ってもらう. そう 念や設計に対する理 く受講者への要望こ 情報科学各論(中解 はそれと同等程度の 目の授業には必ずと	・		操作 1 ンティティ分 2 折) 3	析)
テキスト、参考文献 『30H で理解できるアクセス 2003』 , 実教出版 『図解雑学データベース』, ナツメ出版		評価方法 出席及びレポー	ト課題によっ	て評価します.

03年度以降 情報科学各論(中級ープログラミング論 1)	担当者     呉 浩東
講義目的、講義概要	計画
ような構造を持つか、どのような手順で行うか、データを どのような形にして扱うかについて解説と実習によって 明らかにする。履修者にプログラミングのノウハウや方法 を身につけることに目指す。 初めにコンピュータの構成要素やプログラミング言語 について概説します。続いて、プログラミング言語の一つ である Visual Basic.NET を用いてプログラミングの設 計手順や方法、プログラミング言語の構造、プログラムの 仕組みなどについて学習する。いくつのプログラムの設計	プログラミング言語の発展史開発ツールとしての Visual Basic.NET の基本 Visual Basic の画面構成、プログラム開発の流れ Visual Basic の基本操作フォーム、コントロール、プロパティ設定簡単なプログラムの作成 基本なプログラミングの手順、プログラムの動作の確認するイベント駆動型プログラム 文字の表示と計算プログラム 変数定義、演算、関数、メソッドの使い方選択構造をもつプログラム (1)条件選択構造、プログラムの設計とコーディング選択構造をもつプログラム (2)多重選択、複数の選択のあるプログラムの設計繰り返しあるプログラムの作成 (1)回数指定による繰り返し、For~Next 文繰り返しあるプログラムの作成 (2)条件指定による繰り返し

評価方法

して評価する。

定期試験と、レポートの提出および出席状況を加味

テキスト、参考文献

(1) 最初の講義で指示する。

(2) 随時必要な資料を指示する。

03 年度以降	情報科学各論(中級ープログラミング論 2)		担当者	呉 浩東	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業詞	十画		
礎的なプログラムの にし、より発展的な 各種のプログラムの 力技能を身に付くこ ここでは、Visual 語を使って、Windo にプログラムの作成 文字列の処理、図所 ぶ。 さらに、問題角 用なプログラムの記	l Basic.NETというプログラミング言ws 環境でさまざまな機能を生かすため 及の考え方をはじめ、文系の方に役立つ ジ・画像の処理、ファイル操作などに学 な次のアルゴリズムについて紹介し、実 设計法まで述べる。プログラミングを学 が非常に重要であるので、実習の比重が	2 3 4 5 6 7 8	Sub列列字単字字形ま字像像アーアン用ルプと変列な列列のご列ののイケイダ的ゴロコ数の翻のの描まの描呼ルンルムなリ	ンの処訳処照画な表画び操シ操ト宣理プ理合 図示 出作ャ作ロ言プロプと 形 し(ル(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Function プロシージャ配列 配列 列の使い方 ラム (1) ムの作成 ラム(2) 換え 画するプログラムの作成 画像の移動とコピー セス: データの読み書き ランダムアクセス とソート
			綜合問題、	まとめ	
テキスト、参考文献			方法		
随時必要な資料を指示する。		,	試験と、レ 評価する。	ンポートの携	是出および出席状況を加味

03 年度以降	経済原論 a		担当者	野村	容康
の基礎的な理論につ 代表される個別経済 経済分析)、後期は、 の理論、財政・金融 析)。 講義目的 身の回り 理論によって説明さ にするため、まずに	を初めて学ぶ学生を対象に、現代経済学のいて概説する。前期は、家計と企業に 客主体の行動分析に焦点を当て(ミクロ 一国経済全体の視点から国民所得決定 政策等について議論する(マクロ経済分 の様々な経済現象がどのように経済 されるかを自分なりに考察できるよう は経済学の基礎的な「文法」と「用語」 は講義の目的である。	2. 家計の 3. 家計の 4. 家計の 5. 企業の 6. 企業の 7. 企業の 8. 不完全 9. 市場の 10. 市場の	をの目的と方法の行動① の行動② の行動③ の行動③ の行動③ の行動③ の行動③ を競争の理論 の理論② 経済学の基本が の失敗		
テキスト、参考文献 特に指定しない。参考文献については、初回の講義にて指示する。		原則として試験(出席を考慮する		する。	

03 年度以降	経済原論 b		担当者	野村	容康
の基礎的な理論につ 代表される個別経済 経済分析)、後期は、 の理論、財政・金融 析)。 講義目的 身の回り 理論によって説明さ にするため、まずに	を初めて学ぶ学生を対象に、現代経済学いて概説する。前期は、家計と企業に 客主体の行動分析に焦点を当て(ミクロー国経済全体の視点から国民所得決定政策等について議論する(マクロ経済分のの様々な経済現象がどのように経済されるかを自分なりに考察できるようは経済学の基礎的な「文法」と「用語」は講義の目的である。	2.     国民所       3.     消費 を       4.     投資の       5.     国民所       6.     生産物       7.     金融付       8.     IS-LM       9.     インプ       10.     財政が	一冊 所得決定の理論 対市場の分析 可場の分析 イ分析 アレとデフレ 大字と日本経 マクロ経済	· 倫	
テキスト、参考文献 特に指定しない。参考文献については、初回の講義にて指示する。		原則として試験 出席を考慮する	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	する。	

03 年度以降	社会心理学 a		担当者	田口	雅徳
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要				
まく他者,環境, 学は,こうした社 究する学問分野と 心理学の研究動向 2.自己認知,3 的行動と集団の景	照知過程は少なからず、個人をとり 文化などに影響される。社会心理 社会に生きる個人の認知や行動を研 いえる。本講義では、近年の社会 可を踏まえながら、1.他者認知、 3.自己呈示と自己開示、4.社会 影響、5.対人コミュニケーション かいて論じていきたい。	1. 授業ガイタ 2. 社会心理学 3. 他者認知: 4. 他者認知: 5. 他者認知: 6. 他者認知: 7. 自己認知: 8. 自己認知: 10. 自己認知: 11. 自己認知: 12. まとめ	さとは? 印象形成 即象ののいまで 性格のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	影響力 没個性化	
テキスト、参考文献					
	使用しない。必要な資料は授業において 状は授業の中で紹介する。	出席と授業での	発表,試験に	より総合的に評	を

03 年度以降	社会心理学 b		担当者	田口 雅徳			
講義目的、講義概要	<del>.</del>	授業計画					
講義の目的と概要に	は春学期を参照のこと。	<ol> <li>春学期のま</li> <li>対人魅力②</li> <li>対人魅力②</li> <li>対人財力③</li> <li>対人援助③</li> <li>他者へのみ</li> <li>コミュニーク</li> <li>コミュニーク</li> </ol>	が 魅力 ) (撃① (撃② ーションの ーションの	心理② 心理③			
テキスト、参考文献	テキスト、参考文献						
	使用しない。必要な資料は授業において 状は授業の中で紹介する。	出席と授業での	発表,試験に	より総合的に評価する			

## シラバス フランス語学科

2006年4月1日発行 獨協大学教務部

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 電 話 048-946-1664

. ※この冊子は、再生紙を使用しています。

